NEC

ユーザーズマニュアル

LaVie
VALUESTAR

853-810601-836-A
2009 年 7 月　初版

付　録 103

このマニュアルの表記について

◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の注意には、操作に関連する補足説明や参照情報などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

◆このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

⚠警告　人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意　人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

障害や事故の発生を防止するための禁止事項は、次のマークで表しています。

一般禁止
その行為を禁止します。

接触禁止
特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。

水ぬれ禁止
水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電による感電や発火の可能性を示します。

火気禁止
外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。

分解禁止
分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。

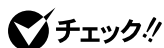
ぬれ手禁止
ぬれた手で扱うと感電する可能性を示します。

障害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

アース線を必ず接続するように指示するものです。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

チェック!!	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
☹➡☺	パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものを探してください。
メモ	参考になる事柄です。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
DVD/CDドライブ	DVDスーパーマルチドライブを指します。
「サポートナビゲーター」	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」は、デスクトップの（サポートナビゲーター（電子マニュアル））をダブルクリックして起動します。
「サポートナビゲーター」-「使いこなす」	「サポートナビゲーター」を起動して、ソフトの操作方法などを参照することを示します。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

『セットアップマニュアル』をご覧になり、ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

液晶ディスプレイセットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVD スーパーマルチドライブ（DVD-R/RW with DVD+R/RWドライブ（DVD-R/+R 2層書込み））を搭載しているモデルのことです。
Windows XP Professionalモデル	Microsoft® Windows®XP Professional があらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows Vista Businessモデル	Windows Vista® Businessがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2007モデル	Office Personal 2007またはOffice Personal 2007とPowerPoint 2007が添付されているモデルのことです。
Office Personal 2007モデル	Office Personal 2007が添付されているモデルのことです。
Office Personal 2007 with PowerPointモデル	Office Personal 2007とPowerPoint 2007が添付されているモデルのことです。
Draft 11n対応ワイヤレスLAN（abgn）モデル	IEEE802.11a（5GHz）、IEEE802.11b/g（2.4GHz）、およびDraft IEEE802.11n（2.4/5GHz）の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。

◆本文中の画面やイラスト、ホームページについて

本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。記載しているホームページの内容やアドレスは、本冊子制作時点のものです。

◆周辺機器について

・ 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
・ 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows XP、Windows XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版Service Pack 3
Windows、Windows Vista	Windows Vista® Home Basic with Service Pack 1（SP1） Windows Vista® Home Premium with Service Pack 1（SP1） Windows Vista® Business with Service Pack 1（SP1） Windows Vista® Ultimate with Service Pack 1（SP1）
Office Personal 2007	Microsoft® Office Personal 2007（Microsoft® Office Word 2007、Microsoft® Office Excel® 2007、Microsoft® Office Outlook® 2007） ※Microsoft® Office 2007 Service Pack 2をインストール済み
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007	Microsoft® Office Personal 2007 with Microsoft® Office PowerPoint® 2007 ※Microsoft® Office 2007 Service Pack 2をインストール済み
WinDVD for NEC	InterVideo® WinDVD® for NEC
Windows Media Player	Windows Media® Player 11
ウイルスバスター	ウイルスバスター™ 2009

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® XP Home Edition、Microsoft® Windows® XP Professional、またはMicrosoft® Windows® XP Media Center Edition および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROM は、本機のみでご使用ください。
(8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

各種規制について

■技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータには、技術基準認証済みの通信機器が搭載されています。

本機のモデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国モードに設定してご使用になりますと電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。なお、ご購入時の使用国モード（初期値）は「日本モード」となっておりますので、設定を変更しないでそのままご使用ください。

■高調波電流規制について

この装置の本体は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 適合品です。

本体の電源の入力波形は正弦波をサポートしています。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合（バッテリパックがない機種含む）]

本装置は落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示）

[充電されたバッテリパックを取り付けている場合]

本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■レーザー安全基準について

DVD/CDドライブ（ブルーレイディスクドライブ含む）が搭載されているモデルでは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）のクラス1 レーザー製品であるDVD/CDドライブ（ブルーレイディスクドライブ含む）が搭載されています。このパソコンに添付されているレーザーマウス（ワイヤレスマウス）は、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）のクラス1レーザー製品であるレーザーマウスです。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*[1]: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

安全にお使いいただくために

安全上のご注意（警告事項）

■本体使用上の警告

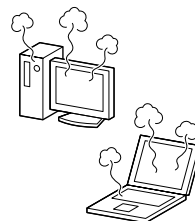
⚠警告

● **本製品は電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源コードのプラグ）に容易に手が届くようにしてください（バッテリパック使用時は除く）。**

電源コンセントから遠い場所に設置した場合、万一、煙や異臭、異常な音、手で触れないほど熱いとき、電源コードのプラグをすぐに抜けなくなるおそれがあります。

● **煙や異臭、異常な音、手で触れないほど熱いときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

そのまま使用すると、火災、やけど、感電のおそれがあります。内部の点検・調整は、下記にお問い合わせください。

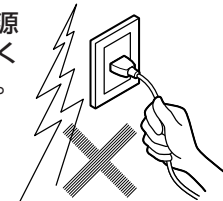
0120-977-633

● **本製品に触れるとビリビリとした電気を感じる場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。**
バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。

そのまま使用すると、感電、けが、火災の原因となるおそれがあります。

● **本製品が変形していたり、割れ目などの破損箇所がある場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。**
バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。

そのまま使用すると、感電、けが、火災の原因となるおそれがあります。

● **雷が鳴り出したら、本機や本機に接続されているケーブル類（電源コード、ACアダプタ、USBケーブルなど）に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しをおこなわないでください。**

落雷による感電のおそれがあります。

● **ビニール袋などの梱包材料は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管してください。**

窒息事故などを起こすおそれがあります。

⚠警告

● **不安定な場所に置かないでください。また、地震等によって落下、転倒しやすい場所には置かないでください。**

落下、転倒してけがをするおそれがあります。

● **本機を改造、分解しないでください。**

感電、発煙、発火の原因になります。

● **本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。**

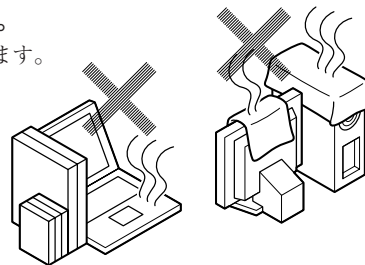
発熱、発火、破裂の原因になります。

● **本製品の内部に次のような異物を入れないでください。**

・金属物　　　　　・水などの液体
・燃えやすい物質　・薬品

回路がショートして火災の原因になります。

● **装置の通風孔（排熱孔）をふさがないでください。**

内部に熱がこもり、発煙、発火の原因になることがあります。

■電源、電源コード、AC アダプタ使用上の警告

⚠警告

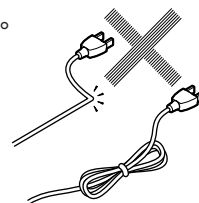
● **電源は AC100V（50/60Hz）を使用してください。**

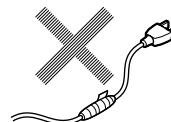
異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。

※ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用（日本仕様）です。

● **電源コード、ACアダプタを取り扱う際は、次の点をお守りください。**

・落下させたり衝撃を与えない
・折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
・つけ根部分を無理に曲げない
・重いものを載せない
・布などでくるまない
・屋外で使用しない
・水などの液体がかかる場所では使用しない

発煙、発火、火災、感電の原因になります。

● **破損した電源コードは使用しないでください。**

電源コードが破損した場合に、テープなどで修復して使用しないでください。修復した部分が過熱し、火災や感電の原因になります。

● **ACアダプタに電源コードや接続ケーブルを巻き付けないでください。**

電源コードや接続ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、発煙、発火、火災、感電、やけどの原因になります。

● **電源コード、ACアダプタのプラグにほこりがたまったままの状態で本機を使用しないでください。**

電源コード、AC アダプタのプラグにほこりがたまったまま使用していると、プラグのピンの間で放電（トラッキング現象）が起こり、火災の原因になります。

⚠警告

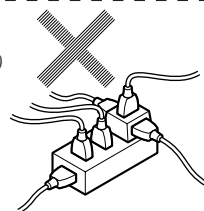
● **電源コードは、装置添付のものを使用し、そのプラグを、壁や床に設置されている定格 100V のコンセントに直接差し込んでください。また、装置添付の電源コードを他の機器には使用しないでください。**

やむを得ず、お客様の責任で延長コード等をご利用になる場合は、二重絶縁（二重被覆）のものを定格の範囲内で使用し、以下の項目に十分注意するようにしてください。

・落下させたり衝撃を与えない
・折れ曲がった状態で使用しない
・つけ根部分を無理に曲げない
・重いものを載せない
・布などでくるまない
・屋外で使用しない
・水などの液体がかかる場所では使用しない
・破損したコードを使わない
・プラグにほこりがたまったままの状態で使用しない
・奥までしっかり差し込む
・プラグ部をコンセントに正しく挿入する
・コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く
・ぬれた手で触らない

延長コード等は、使用方法によっては発煙、発火、火災、感電の原因になることがありますので十分ご注意ください。

● **タコ足配線にしないでください。**

電源コードをタコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。

● **アース線がある場合、アース線は、絶対にガス管につながないでください。**

火災の原因になります。

● **アース線がある場合、アース線の金属部をコンセントとプラグの間にはさまないでください。
またアース線の金属部をコンセントの差込口に差し込まないでください。**

感電の原因になります。

⚠警告

● 指定のACアダプタを使用し、ACアダプタを分解、改造しないでください。

指定以外のACアダプタを使用したり、分解、改造して使用すると、感電、発煙、発火の原因になります。
ACアダプタの型番については、添付のマニュアルをご覧ください。

● 電源コード、ACアダプタ、ウォールマウントプラグ等の接続の際は、次の点をお守りください。

・差込部は正しい向きで接続する
・電源コードをACアダプタに接続する際は、奥までしっかり差し込む
・ウォールマウントプラグをACアダプタに接続する際は、奥までしっかり差し込む
・プラグ部をコンセントに正しく挿入する
・コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く

発煙、発火、火災、感電の原因になります。

● 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

● ACアダプタとパソコンの接続部（DCコネクタ部）については、次の点をお守りください。

・接続部をこじらない
・運搬、移動時は接続を外す
・接続コードを傷付けない

発煙、発火、やけどのおそれがあります。
また、故障等で過熱している場合もありますので、接続部に触るときは十分ご注意ください。

● 電源コード、ACアダプタ、ウォールマウントプラグ等を接続して本体を使用しているときは、ACアダプタにできるだけ接触しないでください。

やけどの原因になります。
特に、バッテリパックの充電中は、ACアダプタの温度が高くなることがあるので注意してください。

■バッテリパック・電池使用上の警告

⚠警告

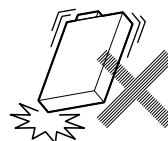
● **バッテリパックは指定の方法以外で充電しないでください。**

マニュアルに記載されている指定方法にて充電してください。指定以外の方法で充電すると、発熱、発火、液もれすることがあります。

● **バッテリパックを火中に投下する、火に近づける、加熱する、または高温状態で放置することはしないでください。**

火中に投下したり、火に近づけたり、加熱したり、または高温状態で放置すると、破裂、発火、液もれすることがあります。

● **バッテリパックに衝撃を与えないでください。**

落下するなど、本体やバッテリパックに強い衝撃を与えた場合、あるいは破損、変形したときは、使用をやめてください。そのまま使用を続けると、破裂や発火、液もれなどのおそれがあります。詳しくは、NEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。

● **バッテリパックを分解、改造しないでください。**

分解、改造すると、破裂したり、液もれすることがあります。弊社指定以外のバッテリパックや、分解、改造したバッテリパック（弊社で修理対応したものを除く）は、安全を確保するためのチェック機能や制御機能が正しく動作しません。

弊社指定以外のバッテリパックや、分解、改造したバッテリパックは、品質、性能、安全性について保証の対象外となります。

● **バッテリでの駆動時間が短くなってきたときは、弊社指定の新しいバッテリパックに交換してください。**

使用期間が長くなり、何度も充放電を繰り返したバッテリパックは、その性能が劣化します。駆動時間が短くなったバッテリパックは、弊社指定の新しいバッテリパックと交換することをおすすめします。

著しく充電容量の低下したバッテリパック※は、直ちに使用を中止し本体から取り外してください。継続して使用した場合、破裂や発火、液もれなどのおそれがあります。詳しくは、NEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。

● **電池は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない所へ保管してください。**

電池内部には有害物質が含まれているため誤って飲み込んだり、なめたりすると危険です。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

● **電池をショート、加熱、または火の中に入れないでください。**

ショート、加熱、または火の中に入れると、電池が発熱、破裂して、けがや火災の原因になります。万一、内部の液がもれて目に入ったり、液に触れた場合は、水でよく洗い流した後、直ちに医師にご相談ください。

● **必ず指定の電池を使用し、（＋）、（－）を正しく入れてください。**

指定以外の電池を使用したり、電池を正しく入れないと、破裂して、けがや火災の原因になります。また、使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。

※：フルに充電しても、仕様の3割以下しか駆動できないバッテリパック。なお、バッテリ駆動時間の詳細は、添付のマニュアルに記載されている「仕様一覧」をご覧ください。

⚠警告

● **電池を充電、直接はんだ付けしないでください。**

充電、直接はんだ付けすると、破裂して、けがや火災の原因になります。

■無線（ワイヤレス）機能使用上の警告

⚠警告

● **埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本製品をペースメーカー装着部から30cm以上離してご使用ください。**

電波により影響を受けるおそれがあります。

● **満員電車の中など、人と人とが近接する状態となる可能性のある場所では、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetoothなどの無線機能をオフにしてください。**

これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方と近接する可能性があり、万が一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

● **医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetoothなどの無線機能をオフにしてください。また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetoothなどの無線機能をオフにしてください。**

医療機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

● **現在各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、本製品もその該当機器となります。電子機器に影響を与え、事故の原因となることがありますので、機内では本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetoothなどの無線機能をオフにしてください。**

電子機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

● **本製品の無線機能を使用中に他の機器に電波障害を引き起こした場合、すみやかに無線機能をオフにするか、本製品の使用を中止してください。**

機器に影響を与え、誤動作による事故の原因になるおそれがあります。

■周辺機器使用上の警告

⚠警告

● 周辺機器は、マニュアルに記載の手順に従って正しく取り付けてください。

正しく取り付けられていないと、発煙、発火の原因になります。

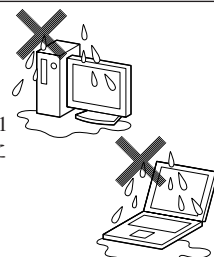
注意事項

■本体使用上の注意

⚠注意

● 本製品を次のような場所では使用・保管しないでください。

・風呂場など湿気の多い場所
・調理台や加湿器のそばなど水、湿気、湯気、塵、油煙などの多い場所

感電の原因になります。万一液体が入った場合は、電源をオフにしてNEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。乾いているようでも本機内部に水分が残っていることがあります。

● 本機の使用中や使用直後、バッテリパックの充電中は、温度が高くなる部分がありますので注意してください。

特に、本体底面、本体背面のコネクタ、液晶ディスプレイの周辺、キーボードのキー、コードを固定するねじ類、ファンの吹き出し口、ACアダプタの表面、PCカード、PCカードスロット、コンパクトフラッシュカードの周辺、バッテリパックやバッテリパックの周辺などが高温になる場合があり、やけどなどのおそれがあります。

● 本製品を設置したり移動する場合は、指などをはさまないよう十分注意してください。

設置や移動の際、本製品と床、壁などとの間に指などをはさむと、けがの原因になることがあります。

● 重い製品を移動したりする場合は、ひざを曲げ、体勢を整えてから、できるだけ体にくっつけるようにして持ち上げてください。

体勢を整えないまま持ち上げたりすると腰痛の原因になる場合があります。なお、大きな製品や特に重い製品は2人以上で持ち上げるようにしてください。

● 前面カバーがある製品の場合、カバーを開けた状態で使用するときは、十分注意してください。

前面カバーに強くぶつかったときにけがの原因になることがあります。
ケーブル等を接続したり、一部のPCカード等を取り付けたりした状態では、カバーを閉じられません。この場合はカバーを開けたまま使用してください。

● 通風孔（排熱孔）からの送風に注意してください。

通風孔（排熱孔）からの排気は室温よりも高い温度となっております。通風孔（排熱孔）からの送風に長時間当たることにより、低温やけどのおそれがありますので、肌の弱い方などは特にご注意ください。

● 液晶ディスプレイを閉じた状態で使用しないでください。

内部温度が高くなり、故障、発熱の原因となります。

⚠注意

● **ひざの上で長時間使用しないでください。**

使用中本機底面が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。
低温やけどは､長時間にわたり一定箇所に発熱体が触れたままになっているときなどに肌に紅斑（こうはん)、水泡（すいほう）などの症状を起こすやけどのことです。肌の弱い方などは、特にご注意ください。

● **使用するソフトによっては、パームレスト部（手をのせる部分）やキーボードのキーが多少熱く感じられることがあります。**

長時間にわたるキーボード等の操作をする場合は､低温やけどのおそれがありますので、肌の弱い方などは特にご注意ください。

● **DVD/CDドライブ（ブルーレイディスクドライブ含む）のトレイが出た状態で使用する場合は、十分注意してください。DVD/CDドライブ（ブルーレイディスクドライブ含む）のトレイはイジェクトボタンを押さなくても、ソフトウェアの動作などで本体から出てくることがあるため注意してください。**

DVD/CDドライブ（ブルーレイディスクドライブ含む）のトレイに強くぶつかったり手や足をひっかけたりすると、けがや破損の原因になります。

● **DVD/CDドライブ（ブルーレイディスクドライブ含む）は絶対に分解しないでください。**

故障、発熱、破損、感電の原因になります。

● **DVD/CDドライブ（ブルーレイディスクドライブ含む）などのレーザー光源を直接見ないでください。**

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

● **添付のCD-ROM・DVD-ROMディスクは、CD-ROM・DVD-ROM対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。**

大音量によって耳に障害を被ったり､スピーカやCD-ROM・DVD-ROMディスクを破損する原因になります。

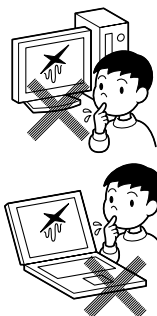
● **フロッピーディスクイジェクトボタンは指の腹の部分で押してください。**

爪の先でフロッピーディスクイジェクトボタンを押すと、爪と指先の間にフロッピーディスクイジェクトボタンが入ってけがの原因になります。

● **モデムは、一般の電話回線のみに接続してください。**

一般の電話回線以外に接続した場合、故障、発熱、破損の原因になります。

● **先のとがったもので液晶ディスプレイ表面に傷を付けないでください。**
● **液晶ディスプレイ表面や外枠部分を強く押さないでください。**
● **液晶ディスプレイ内部の液体を口に入れないでください。また、内部の液体に触れないでください。**

液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は､すぐにうがいをしてください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は､すぐに流水で15分以上洗浄し、直ちに医師にご相談ください。

⚠注意

● 光センサーマウスの底面の光を直接見ないでください。

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

● レーザーマウスの底面中央の穴を見つめないでください。

レーザーマウスのレーザーは目で見て確認することはできませんが､底面中央の穴からレーザーが出ています。

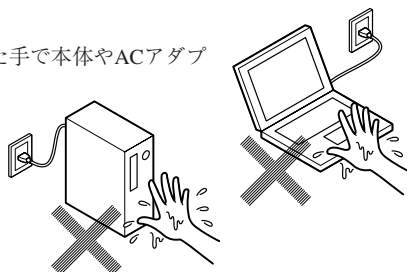
底面中央の穴を見つめると目の痛みなど､視力障害を起こすおそれがあります。

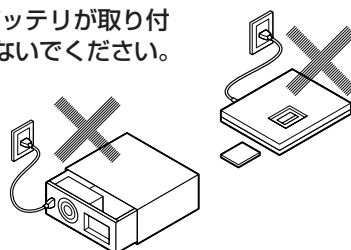
レーザーマウスが正しく動作しているかどうかは､マウスを動かして確認してください。

■電源、電源コード、ACアダプタ使用上の注意

⚠注意

● ぬれた手で触らないでください。

電源コードがコンセントに接続されているときにぬれた手で本体やACアダプタに触ると、感電の原因になります。

● 電源コードがコンセントに接続されているときやバッテリが取り付けられているときは本体やメモリのカバー類を外さないでください。

感電の原因になります。

● アース線がある場合、必ずアース線を接続してください。

アース線を接続しないと、感電の原因になります。

● アース線がある場合、アース線の接続や取り外しをおこなうときは、必ず本体および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いてください。

感電の原因になります。

● お手入れの前には、必ず本機や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、バッテリを取り外してください。

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電の原因になります。

■バッテリパック・電池使用上の注意

⚠注意

● **電池を分解しないでください。**
有害物質が出て、人体に悪影響を及ぼすことがあります。

● **電池は直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。**
液もれの原因になります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

● **電池の内部の液がもれたときは、液に触れないでください。**
やけどのおそれがあります。万一液に触れた場合は、水でよく洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。

● **種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。**
液もれ、破裂などにより、やけど、けがの原因になることがあります。

● **バッテリパックの取り付け／取り外しをおこなう場合には、指をはさまないよう注意してください。**
けがの原因になります。

● **端子ショート、水もれ、高温環境での放置などは避けてください。**
故障の原因になります。

● **乾電池は、＋極と－極をセロハンテープで絶縁してから、各自治体の指示にしたがって捨ててください。**
発煙、発火の原因になります。

● **本機内部のリチウム電池は、お客様では交換しないでください。なお、なんらかの理由でリチウム電池を捨てる必要がある場合は、＋極と－極をセロハンテープで絶縁してから、各自治体の指示にしたがって捨ててください。**
故障、発煙や発火の原因になります。

Ni-MH
または
Li-ion

不要になった二次電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクルにご協力ください。

二次電池のリサイクルについては、下記のホームページでご確認ください。

http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/battery/

■無線（ワイヤレス）機能使用上の注意

⚠ 注意

● **補聴器を装着されている方は、本製品の使用により、補聴器にノイズなどを引き起こす可能性がありますので、ご使用前にご確認ください。**

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■周辺機器使用上の注意

⚠ 注意

● **周辺機器の取り付け／取り外しをおこなうとき、特に本体内部に手を入れるときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。**

けがの原因になります。

● **増設 RAM ボードの取り付け／取り外しをおこなうときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。**

けがの原因になります。

● **このパソコンの使用直後に本機のカバーを開けて、周辺機器の取り付けや取り外しをするときは、CPU や CPU の周辺、ヒートシンク（放熱板）に触れないでください。**

CPU、CPU の周辺、ヒートシンク（放熱板）が高温になっていますので、手を触れるとやけどをするおそれがあります。電源を切った後、30分以上たってからおこなうことをおすすめします。

● **このパソコンの増設 RAM ボードの取り付け／取り外しをするときは、ボード上の部品、金属部には直接手を触れないでください。**

ボード上の部品、金属部が高温になっているため、手を触れるとやけどをするおそれがあります。

● **電話回線ケーブル（モジュラケーブル）の取り外しや接続をおこなうときは、モジュラコンセントの端子部分に触れないでください。**

電話がかかってくると電話回線上に電圧がかかるため、電話回線ケーブルを抜いたときにモジュラコンセントの端子に触れると感電のおそれがあります。

■健康上の注意

⚠注意

● **ディスプレイを長時間継続して見ないでください。**

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下することがあります。ディスプレイなどの画面を見続けて、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。

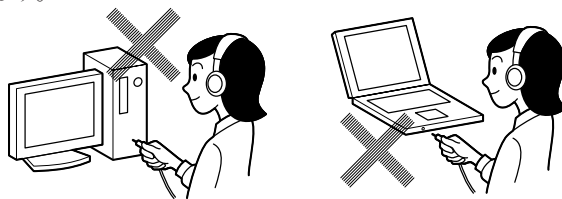
● **キーボードやNXパッド、マウスを長時間継続して使用しないでください。**

キーボードやNXパッド、マウスを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなることがあります。キーボードやNXパッド、マウスを使用中、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。

● **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを使う場合は、音量を上げすぎないように注意してください。**

大きな音量で長時間使うと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを装着した状態でプラグの抜き挿し、本機の電源のオン／オフ、省電力状態／復帰の操作をしないでください。**

聴力に悪い影響を与えることがあります。

製品保護上のご注意

■本機の取り扱い上の注意

● 次のような場所では、使用／保管しないでください。

誤動作や故障の原因になることがあります。

ほこりが多い場所／衝撃や振動が加わる場所／不安定な場所／暖房器具の近く／磁気を発するもの（扇風機や大型のスピーカ、温風式こたつなど）の近く／長時間直射日光が当たる場所／落下の可能性がある場所／テレビ、ラジオ、コードレス電話などの近く／熱のこもる場所／水分や湿気の多い場所／夏の閉めきった自動車内

● 次の環境で使用してください。

デスクトップPCの場合、温度10℃～35℃、湿度20％～80％（結露しないこと）
ノートPCの場合、温度5℃～35℃、湿度20％～80％（結露しないこと）

● 本機を使用する際は、次のことに気をつけてください。

- 落としたりぶつけたりしないよう、平らで十分な強度がある場所で使用してください。
- 結露した状態で使用しないでください。寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になることがあります。
- 本機の上にものを載せないでください。また、書類や布などで通風孔（排熱孔）をふさがないでください。
- 通風孔のほこりなどは定期的に取り除いてください。通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、本機の故障や機能低下の原因となることがあります。
- 本機のそばで、飲食や喫煙をしないでください。
- 本機を改造しないでください。当社の保証やサービスの対象外となることがあります。
- 先のとがったもので傷付けないでください。特に、指紋センサに傷が付くと、故障や照合精度が落ちる原因になります。
- DVDやCDなどのディスクにデータを記録中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- 静電気に注意してください。本機は静電気によって故障、破損することがあります。本機に触れる前にアルミサッシやドアのノブなどの身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。

● 本機を移動するときには、必ず電源を切り、電源コード、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

輸送する場合にはキャリングバッグやご購入時の梱包箱を利用してください。

● 本機を移動するときには、DVDやCDなどのディスクを取り出してください。

本機の故障や、DVDやCDなどのディスクの破損の原因になります。

● 長時間使用しないときは、電源コード、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

旅行などで長時間お使いにならないときは、安全のため、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

● 本機に接続されている周辺機器を取り外すときには、必ず接続ケーブルのプラグ部分を持って抜いてください。また、プラグを抜く際は、無理に引き抜いたりこじったりしないでください。

ケーブルを引っぱって取り外したり、プラグを無理に引き抜いたりすると、故障の原因になることがあります。

● ケーブル類は整理してください。

ケーブルを整理しておかないと、つまずいたりひっかけたりして、本機の故障の原因になります。

●本機の液晶ディスプレイに画面を表示させていると、液晶ディスプレイの周りの一部分があたたかくなることがあります。

これは、表示用電源の熱によるものであり、故障や異常ではありません。本機の電源を切ると、表示用電源が切れて温度が下がります。
ノートPCの場合は、液晶ディスプレイを閉じると、表示用電源が切れて温度が下がります。

■ハードディスク取り扱い上の注意

- **振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。**
- **電源を入れたまま本機を動かさないでください。**
- **本機のハードディスク動作中は本機に衝撃や振動を与えないよう、特に注意してください。**
  ハードディスク動作中に外部から強い衝撃を加えると、データが失われるだけでなく、ハードディスクが故障することがあります。
- **本機のハードディスク動作中は、電源を切ったり再起動しないよう、特に注意してください。**
  ハードディスク動作中に電源を切ったり再起動すると、ハードディスクが故障することがあります。

■データのバックアップについて

● バックアップとは

パソコンに保存されているデータをDVDやCDなどのディスク／フロッピーディスク／外付けハードディスクなどに複製（コピー）することを「バックアップを取る」といいます。
パソコンの故障などの異常が起きてご購入後に作成したデータが消えてしまった場合、そのデータをもとに戻すことはできません。
万一の事態に備えて定期的にデータのバックアップを取り、大切なデータを保護しましょう。

● バックアップを取るタイミング

特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびにバックアップを取ることをおすすめします。また、日時や曜日を決めて定期的にバックアップを取るのもよいでしょう。

■お客様が作成されたデータの保存について

お客様が作成されたデータ（画像データ、映像データ、文書データなど）やプログラム、設定内容が記憶装置（ハードディスクなど）に記憶されている場合は、お客様の責任においてバックアップをお取りくださいますようお願いします。お客様が作成されましたデータなどは普段からこまめにバックアップをお取りになることをおすすめします。
本商品の故障や誤動作などにより、記憶装置に記憶された内容が消失したり、使用できない場合がございますが、当社ではその損害の責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■コンピュータウイルスの予防について

● コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとは、パソコンの動作に悪影響を与える不正なプログラムのことで、インターネットや電子メールなどを通じて感染する可能性があります。コンピュータウイルスに感染すると、感染したパソコンのプログラムやデータが破壊されるばかりでなく、他のパソコンへの感染元となってしまう可能性もあります。
モデルによってはコンピュータウイルスの予防と駆除をするためのソフトが添付されていますので、定期的なチェックをおこなうことをおすすめします。
また、日々増え続けるウイルスに対応するためには、「ウイルス定義ファイル」の更新が必要です。

■ DVD、CD、ブルーレイディスクなどの取り扱い上の注意

● DVDやCD、ブルーレイディスクなどのディスクを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

・データ面（文字などが印刷されていない面）に手を触れないでください。
・ディスクにラベルを貼ったり、傷を付けたりしないでください。
・ディスクに文字を書く場合はディスク印刷面（レーベル面）に書いてください。ボールペンや鉛筆などペン先が硬いものは避け、フェルトペンなどペン先が柔らかい油性の筆記用具で手書きをするか、インクジェットプリンタ対応のディスクを使用して、インクジェットプリンタで直接印刷してください。
・上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
・汚れたDVDやCD、ブルーレイディスクなどのディスクは使わないでください。
・汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けてふいてください。
・清掃の際はCD専用のスプレーをお使いください。
・ベンジン、シンナーなどでふかないようにしてください。
・ゴミやほこりの多い場所での使用は避けてください。
・使わないときは収納箱に入れて保管してください。
・直射日光の当たる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

■フロッピーディスク取り扱い上の注意

● フロッピーディスクを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

・フロッピーディスクを磁石に近づけないでください。フロッピーディスクが壊れると大切なデータやソフトウェアが使えなくなります。磁石はテレビやスピーカにも使われています。これらの上にフロッピーディスクを置いたりしないようにしてください。
・シャッターを開けて、中のディスクに触れないでください。
・汚れたフロッピーディスクは使わないでください。
・フロッピーディスクにラベルを貼り付けた状態でラベルに鉛筆で記入したり、消しゴムを使ったりしないでください。
・上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
・ラベルは正しい位置に貼ってください。
・飲食、喫煙しながら使わないでください。
・溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
・クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
・ゴミやほこりが多い場所での使用は避けてください。
・使わないときは収納箱に入れて保管してください。
・直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやほこりが多い所に置かないでください。

■メモリーカード取り扱い上の注意

●メモリーカードを取り扱う際は、次のことに気をつけてください。

使用について

・メモリーカードに添付の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
・静電気による故障を防ぐため、静電気を放電してからメモリーカードを取り扱ってください。
・小型のメモリーカードなど、アダプタが必要なカードは、必ずアダプタを装着してください。
・メモリーカードは、方向を確かめて取り付けてください。
・メモリーカードスロットには、対応以外のメモリーカードを挿入しないでください。
・メモリーカードの読み込み／書き込み中は、本体や周辺機器のメモリーカードスロットからメモリーカードを取り出さないでください。
・メモリーカードやメモリーカードスロットの金属端子部分を触らないでください。
・裏面に通電性（電気を通す性質）がある金属が使用されているSDメモリーカードやSDHCメモリーカード、マルチメディアカードや変換アダプタは使用しないでください。
・汚れたメモリーカードは、汚れをとってから本体や周辺機器のメモリーカードスロットに取り付けてください。

取り扱いについて

・分解しないでください。
・上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
・溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
・クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
・ゴミやほこりが多い場所での使用は避けてください。

保管について

・使わないときは収納箱に入れて保管してください。
・メモリーカードやアダプタ、メモリーカードスロットにセットされていたダミーカードなどは、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管し、誤って飲み込んだりすることがないようにしてください。
・直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやほこりが多い所に置かないでください。
・長期期間使用しないときは、メモリーカードやアダプタを、メモリーカードスロットに取り付けたままにしないでください。
・メモリーカードには、添付の指定ラベル以外を貼らないでください。
・メモリーカードには、指定の貼付箇所以外にラベルを貼らないでください。
・大切なデータはハードディスクなどにコピーして、バックアップを取ってください。

■バッテリパック取り扱い上の注意

● バッテリパックは消耗品です。

使用期間が長くなり、何度も充放電を繰り返してきたバッテリパックは、その性能が劣化します。バッテリ駆動時間が短くなってきた場合は、弊社指定の新しいバッテリパックと交換してください。

著しく充電容量の低下したバッテリパック※は、直ちに使用を中止し本体から取り外してください。継続して使用した場合、破裂や発火、液もれなどのおそれがあります。詳しくは、NEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。

● ACアダプタを使用している場合でも、バッテリパックは徐々に劣化します。

ACアダプタを使用していても、長時間、電源を入れたままの状態にしていると、バッテリパックの劣化を早めてしまいます。本体を使用していないときには、電源を切っておくことをおすすめします。

● バッテリ関連Q&A集もご覧ください。

バッテリについてはJEITA（社団法人 電子情報技術産業協会）の「バッテリ関連Q&A集」もあわせてご覧ください。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/battery/menu1.htm

※：フルに充電しても、仕様の3割以下しか駆動できないバッテリパック。なお、バッテリ駆動時間の詳細は、添付のマニュアルに記載されている「仕様一覧」をご覧ください。

健康のために

パソコンを使った作業では、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業にくらべて次のような症状が起こりやすいと言われています。

・眼が疲れたり、重く感じる
・ものがぼやけてみえる
・疲れやすい
・頚（くび）から肩、手の指にかけて、しびれたり全体的に痛みを感じたりする

このような症状の感じかたは、作業時間や使用状況などにより個人差が大きいと言われています。次のことを心がけるようにしましょう。

・1 時間の作業につき 10 ～ 15 分の休息時間をとる
・休憩時には、軽い体操をするなど、気分転換をはかる

万一、疲労が翌日まで残るような場合は、早めに医師に相談してください。

■良い作業姿勢をとりましょう

パソコンを使用する際の良い姿勢は、余分な力が入らない、リラックスできる姿勢と言われています。

・背もたれに背中が支えられるよう背すじを伸ばして椅子に座る

・両手を床とほぼ平行にキーボードに置く

・画面を目の高さより低くし、視線がやや下向きになるようにする

■機器をこまめに調節しましょう

機器の調節ができる場合は、使いやすい状態にこまめに調節してください。

● 液晶ディスプレイの角度調節

本機の液晶ディスプレイは、角度調節ができるようになっています（一部のディスプレイは除く）。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくするために、液晶ディスプレイの角度を調節することは大変重要です。
角度調節について詳しくは、本機やディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

● 画面の輝度（明るさ）調節・コントラスト（濃淡）調節

個人差、周囲の明るさなどによって、画面の最適な輝度・コントラストは異なります。そのため、画面の輝度・コントラストは、状況に応じて見やすいようにこまめに調節することが必要です。
詳しくは、添付のマニュアルをご覧ください。

● キーボードの角度調節

機種によっては、キーボードの角度調節ができるようになっています。好みによって、入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕への負担を軽減するのに大変有効です。
キーボードの角度調節をするときには、足を必ず両方とも立てて使用してください。
なお、足の位置については、添付のマニュアルをご覧ください。

■機器を清掃しましょう

ディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると表示内容が見にくくなる原因になりますので、定期的に清掃する必要があります。

■本機のお手入れ

本機のお手入れの方法については、添付のマニュアルをご覧ください。

PART

1

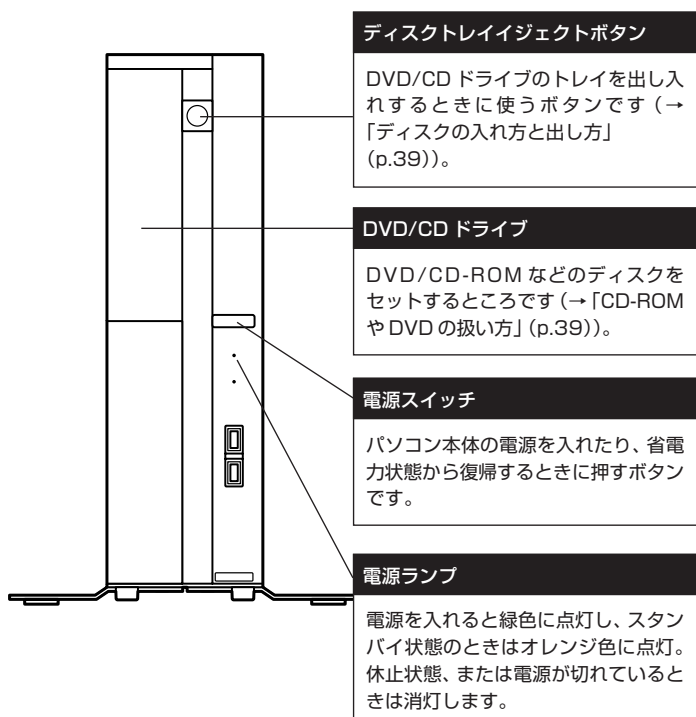
このパソコンについて

『セットアップマニュアル』を使ってセットアップが終わったら、いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。

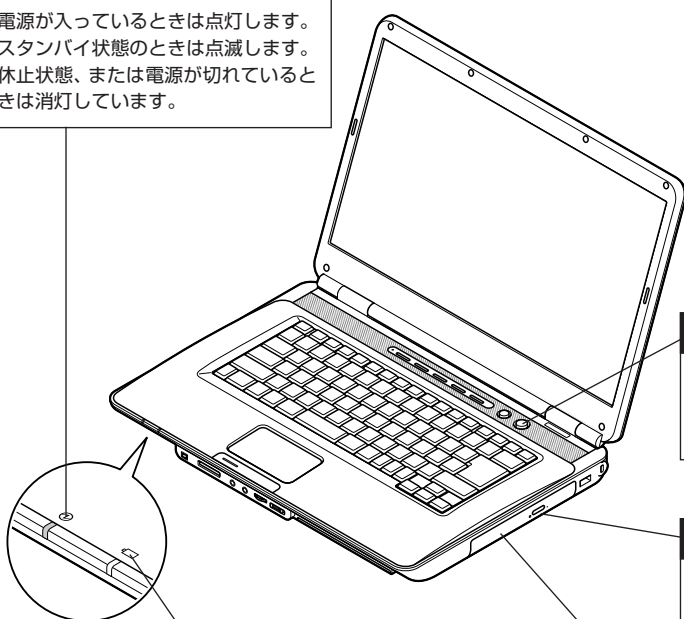
パソコンを使う準備をする

このパソコンの添付品の確認、接続、およびセットアップについては、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
ここでは、このパソコンの電源スイッチ、DVD/CDドライブなどについて紹介します。

・VALUESTAR Gシリーズの場合

参照

パソコン各部の説明について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」

・LaVie G シリーズの場合

参照

パソコン各部の説明について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」

チェック!!

Windows XP では、NX パッド部分をテンキーとして使用できる「光るテンキーパッド」機能は利用できません。Windows Vistaにアップグレードすることで、使用できるようになります。

お客様登録のお願い

121wareでは「お客様登録」することで、さまざまなメリットを提供しています。あなたのデジタルライフをグッとオトクに、そしてさらに便利でもっと身近に感じる121wareのサービスを是非ご利用ください。
※法人のお客様としてご使用の場合も、ご登録をおすすめします。
登録料・会費無料

登録するとメリットがたくさん

1　電話での「使い方相談」

使い方を何度でも無料で相談
保有商品を登録すると、購入後1年間※の使い方相談が何回でも無料で利用できます。

2　あなただけのマイページ

マイページは、あなた専用のページです
登録した商品を元に、あなたのパソコンに合ったサポートやサービスに関する情報が表示されます。

3　NEC Directの優待サービス＆ポイントもGet

NEC Directの優待サービスでお買い物。ポイントももらえる
保有商品を登録されているお客様は、NEC Directの優待サービスが受けられます。

その他の特典

買い取り
不要になったパソコンの買い取りサービスがWebからできます。

修理
Webで修理を申し込むと、修理料金が割引されます。

メールニュース
商品広告・活用提案・サポート・キャンペーンなどの情報をお届けします。

※ パソコン本体以外の商品／NEC Refreshed PC（再生パソコン）の「使い方相談」の無料期間は、各商品の保証書に記載の保証期間となります。

お客様登録の方法

お客様登録（お持ちのNEC製品も登録してください）をして、電話の問い合わせのときに必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる際に必要な「ログインID」を取得してください。
ご登録いただくことでお客様に合ったサポート・サービスをご提供させていただきます。

インターネットによる登録をおすすめします。
「121wareお客様登録番号」と「ログインID」を同時に取得でき、すぐにインターネットサポートが受けられます。
まだインターネットをお使いになれないお客様にはFAX登録をご用意しております。ただし、FAX登録からでは「121wareお客様登録番号」のみの取得となり、インターネットでのさまざまなサービスがご利用いただけません。
インターネットが使えるようになり次第、「ログインID」の取得をおすすめします。

チェック!!
すでにお客様登録がお済みのお客様は、保有商品の追加登録をお願いいたします。「121ware.com」のマイページ（http://121ware.com/my/)内の「保有商品情報」で、ご購入いただいた商品を追加することができます。

インターネット登録（推奨）

インターネットに接続して、NEC パーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」のマイページ（http://121ware.com/my/）から登録します。詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。

チェック!!
登録の前に、インターネット接続の設定が必要です。

FAX登録

お手持ちのFAXから「0120-977-121」（フリーコール）に電話します。
ご希望の窓口案内のアナウンスが流れますので、FAX情報サービス窓口番号である「9」を押します。
FAX情報サービスにつながりますので、アナウンスにしたがい、BOX番号3002と#を押し、お客様登録用紙を取り出してください。必要事項をご記入の上、FAXでお送りください。

チェック!!
FAX用紙はNECパソコン情報FAXサービスから取り出してください。
電話番号はよくお確かめになり、お間違えのないようにおかけください。

メモリーカードの扱い方

このパソコンで使えるメモリーカードの種類や取り扱い上の注意、メモリーカードのセットのしかたを説明します。

メモリーカードの取り扱い上の注意

- メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「7メディア対応カードスロット」をご覧ください。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。メモリーカードの説明書をよく読んでから使用してください。
- 大切なデータはハードディスクなどにコピーして、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカードを読み込めない場合は、メモリーカード内のファイルに対応するソフトがパソコンにあるかを確認してください。携帯電話の機種やダウンロードサービスの種類によっては、専用のソフトをパソコンにインストールする必要があります。
- 携帯電話からメモリーカードにダウンロードした音楽データなどは、エクスプローラなどからパソコンにコピーしても利用できないことがあります。携帯電話の機種によって異なりますので、詳しくは携帯電話の説明書をご覧ください。
- 誤った操作による故障やメディアの取り出しは有償となりますのでご注意ください。
- Windows上でメモリーカードのフォーマットやディスクデフラグをおこなわないでください。
- メモリーカードにデータを保存中または読み込み中に周辺機器を接続しないでください。また、データの保存中はスタンバイ/休止状態にしないでください。メモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になります。

メモリーカードの取り付け方と取り外し方

・VALUESTAR G シリーズの場合

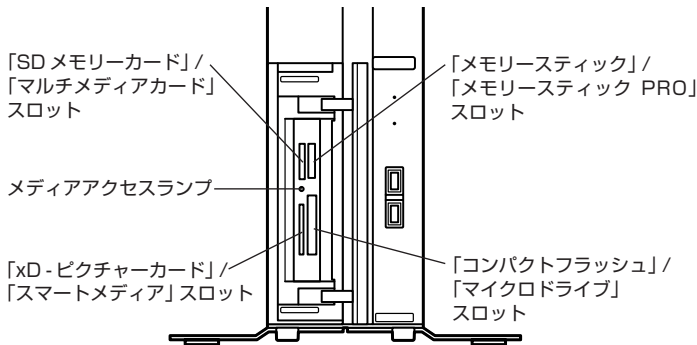
VALUESTAR Gシリーズで、7メディア対応カードスロットを選択された場合、次の方法でメモリーカードを利用できます。7メディア対応カードスロットの注意事項などについて詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「7メディア対応カードスロット」、および「メモリーカード取り扱い上の注意」(p.27)をご覧ください。

参照

VALUESTAR G シリーズで使えるメモリーカードについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「7メディア対応カードスロット」

●メモリーカードを取り付ける方法

1 本体前面のカバーを開ける

2 メモリーカードの表面を左にして向きに注意し、それぞれのスロットに奥までしっかり差し込む

●メモリーカードを取り外す方法

1 メディアアクセスランプが点灯している場合は、「マイコンピュータ」の中の各メモリーカードのデータが入っているドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「取り出し」をクリックする

メディアアクセスランプが消灯したことを確認してください。

2 スロットに差し込まれているメモリーカードをまっすぐに引き抜く

3 本体前面のカバーを閉める

チェック!!

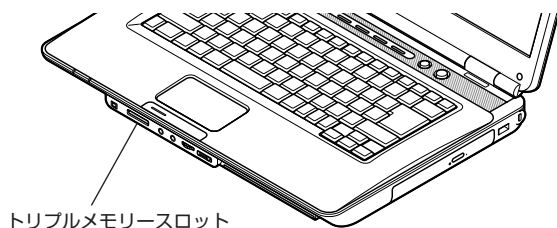
- 「miniSDカード」、「microSDカード」、「メモリースティック デュオ」、「メモリースティック PRO デュオ」、「メモリースティック PRO-HG デュオ」を使う場合は、アダプタに差し込んでおいてください。アダプタの装着方法について詳しくは、メモリーカードまたはアダプタの説明書をご覧ください。
- メモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理に差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、メモリーカードの説明書をご覧ください。
- メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「7 メディア対応カードスロット」をご覧ください。

チェック!!

- メディアアクセスランプ点灯中は、スロットに差し込まれているメモリーカードを絶対に取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因になります。
- miniSD カード、microSD カード、メモリースティック デュオ、メモリースティック マイクロ(M2)などのアダプタを使用して差し込んでいる場合、スロット内にアダプタを残したままにしないようにご注意ください。

・LaVie G シリーズの場合

●メモリーカードを取り付ける方法

1 **メモリーカードの表面を上にして向きに注意し、トリプルメモリースロットに奥までしっかり差し込む**

●メモリーカードを取り外す方法

1 **画面右下の通知領域にあるをクリックすると表示される「×××× を安全に取り外します」で、取り外す機器名をクリックする**

「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。画面右下の通知領域にが表示されていないときは、をクリックしてください。

2 **メモリーカードを軽く押す**

メモリーカードが少し出てきます。

3 **メモリーカードを水平に引き抜く**

参照

LaVie Gシリーズで使えるメモリーカードについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「トリプルメモリースロット」

チェック!!

初めてご使用になるときは、トリプルメモリースロットにダミーカードが取り付けられています。次の「メモリーカードを取り外す方法」をご覧になり、同様の手順でダミーカードを取り外してください。

チェック!!

- 「miniSDカード」、「microSDカード」、「メモリースティック デュオ」、「メモリースティック PRO デュオ」、「メモリースティック PRO-HG デュオ」を使う場合は、アダプタに差し込んでおいてください。アダプタの装着方法について詳しくは、メモリーカードまたはアダプタの説明書をご覧ください。
- メモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理に差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、メモリーカードの説明書をご覧ください。
- メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「トリプルメモリースロット」をご覧ください。

チェック!!

- トリプルメモリースロットアクセスランプ点灯中は、トリプルメモリースロットに差し込まれているメモリーカードを絶対に取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因になります。
- miniSD カード、microSD カード、メモリースティック デュオ、メモリースティック マイクロ (M2) などのアダプタを使用して差し込んでいる場合、スロット内にアダプタを残したままにしないようにご注意ください。

CD-ROMやDVDの扱い方

このパソコンのDVD/CDドライブで使えるディスクの種類や取り扱い上の注意、ディスクのセットのしかたを説明します。

ディスクの取り扱い上の注意

・使用後は、収納ケースに入れるようにしてください。
・ラベルやテープが貼られているなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、使用時の振動や故障の原因になります。
・このパソコンにインストールされているOS以外のOSに対応したCDやDVDは、使えないものがあるため、ご購入前に確認してください。
・DVDはWinDVD for NECというソフトで再生してください。Windows Media Playerでは再生できません。

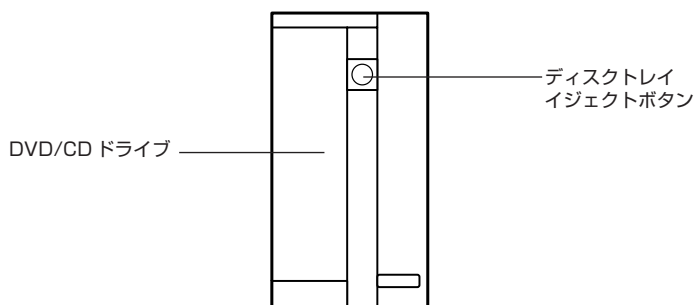
参照

このパソコンで使えるディスクについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「DVD/CDドライブ」

ディスクの入れ方と出し方

・VALUESTAR Gシリーズの場合

●ディスクを入れる方法

1 **ディスクトレイイジェクトボタンを押す**

ディスクトレイが出てきます。

2 **ディスクのラベル面(文字などが印刷されている面)を左にしてディスクトレイにセットする**

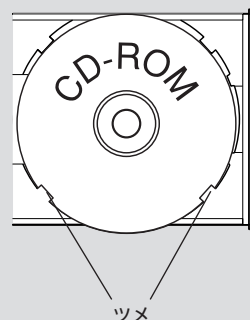
3 **ディスクトレイを軽く押す**

ディスクトレイが収納されます。

チェック!!

ディスクトレイの出し入れは、本体の電源が入っているときのみおこなえます。

チェック!!

ディスクをセットする際は、ディスクが落ちないよう、ディスクトレイのツメに引っかけてください。

●ディスクを取り出す方法

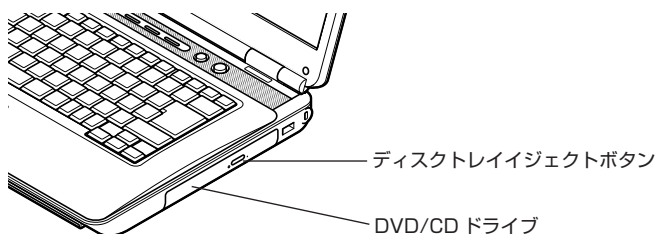
1 ディスクトレイイジェクトボタンを押す

2 ディスクトレイからディスクを取り出す

3 ディスクトレイを軽く押す
ディスクトレイが収納されます。

・LaVie G シリーズの場合

●ディスクを入れる方法

1 ディスクトレイイジェクトボタンを押す
ディスクトレイが少し飛び出したら、手で静かに引き出します。

2 ディスクのラベル面（文字などが印刷されている面）を上にして、ディスクトレイにセットする

3 ディスクトレイの前面を押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

●ディスクを取り出す方法

1 ディスクトレイイジェクトボタンを押し、ディスクトレイを出す

2 ディスクトレイからディスクを取り出す

3 ディスクトレイを押して、ディスクトレイを収納する

チェック!!

ディスクトレイから取り出すときに、ディスクを落としたり、傷を付けたりしないように注意してください。

チェック!!

・ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
・レンズ保護シートがあらかじめ取り付けられている場合は、使用する前に必ずレンズ保護シートを取り外してください。

キーボードのボタンについて

・VALUESTAR G シリーズの場合

ソフトボタン

ボタンを押すだけでソフトを起動できるボタンです。【メール】で自分が登録したメールソフトを、【インターネット】でインターネットを、【ソフト】で「サポートナビゲーター」を起動できます。工場出荷時の状態では、【メール】にはソフトが登録されていません。最初に押したとき、設定用の画面が表示されます。画面の内容を確認して登録するソフトを指定してください。

ワンタッチスタートボタン（Ⅰ・Ⅱ）

登録したソフトをワンタッチで起動するボタンです。
工場出荷時の状態ではソフトが登録されていません。最初に押したとき、設定用の画面が表示されます。画面の内容を確認して登録するソフトを指定してください。

ECO ボタン

消費電力のモードを切り換えるボタンです。押すごとに次の３つのモードが切り換わります。

・高性能
　電力の節約よりパソコンの処理速度を優先するモードです。
・標準
　電力の節約とパソコンの処理速度のバランスをとったモードです。
・ECO
　パソコンの処理速度より電力の節約を優先するモードです。

参照

ソフトボタン、ワンタッチスタートボタンについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「キーボード / ワンタッチスタートボタン」

・LaVie G シリーズの場合

参照

ワンタッチスタートボタンについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「キーボード / ワンタッチスタートボタン」

チェック!!

Windows XP では、NX パッド部分をテンキーとして使用できる「光るテンキーパッド」機能は利用できません。Windows Vistaにアップグレードすることで、使用できるようになります。

チェック!!

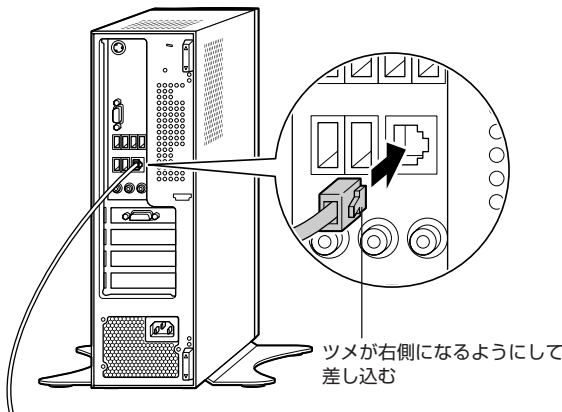
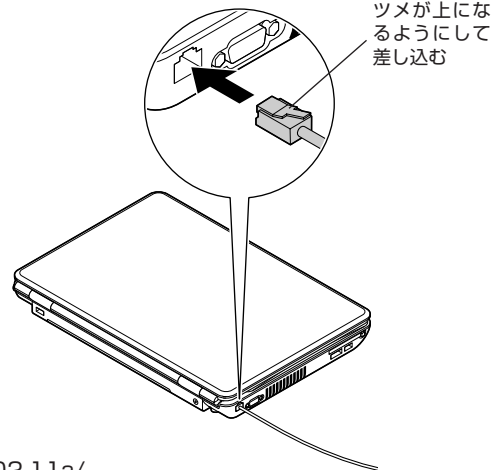
- 消費電力のモードは「スタート」-「コントロール パネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「電源オプション」で確認できます。
- ECO ボタンは、省電力のモードが「ECO」のときに点灯し、「高性能」「標準」のときは消灯します。現在のモードは、通知領域のアイコンで確認できます。

インターネットに接続する

このパソコンで、インターネットに接続する方法について説明します。

機器の接続について

ADSLやFTTHなどのブロードバンド回線を使って、インターネットに接続するには、このパソコンのLANコネクタを使用します。

・VALESTAR Gシリーズの場合

・LaVie Gシリーズの場合

LaVie Gシリーズで、Draft 11n対応ワイヤレスLAN（IEEE802.11a/b/g、およびDraft IEEE802.11n準拠）を選択した場合は、ワイヤレスLANでインターネットに接続することもできます。詳しくは「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「ワイヤレスLAN（無線LAN）」をご覧ください。

参照

LANコネクタについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「LAN」

インターネットの設定について

機器の接続が終わったら、インターネットの設定をおこないます。
契約している各プロバイダの資料または、「スタート」-「ヘルプとサポート」で「インターネットに接続する」と入力して検索してください。

パソコンを安全に使うための設定について

ウイルスによる被害を防いだり、お子様を有害なホームページから守るための設定などについては、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「安全に使うためのポイント」をご覧ください。

PART

2

再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、このPARTの説明をよくお読みください。

再セットアップを始める前に

再セットアップの意味を理解して、いくつかのトラブル解決手段を試してみましょう。

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ(準備作業)をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ(画面の表示が動かなくなること)が多くなったりしたときは、意識しないうちにパソコンのシステムが壊れたり、設定が変更されてしまった可能性があります。
再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。大切なデータは、再セットアップの前にデータのバックアップ(データの控えを残しておくこと)を取ってください。

再セットアップの前に試すこと

再セットアップを始める前に、次のことを試してみてください。問題が解決することがあります。

●ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。インターネットやメールを経由してパソコンに入り込んだり、ウイルスに感染したディスクからパソコンに感染してしまうこともあります。
知らないうちに保存したデータが消えていたり、意味不明な文字や絵が突然画面に表示されたりしたときは、次のようにしてウイルスをチェックしてください。
ウイルスが駆除されればパソコンが正常に使えるようになることがあります。

1 **デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックし、「検索開始」をクリック**

アイコンが表示されていないときは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター2009」-「ウイルスバスター2009を起動」をクリックしてください。「ウイルスバスター」のメイン画面が表示されたら「検索開始」をクリックしてください。

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

チェック!!

ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「ウイルスバスター」は、ユーザー登録をおこなった日から90 日間、無料で最新のウイルススキャンやウイルスパターンファイルにアップデートをおこなうことができます。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ウイルスバスター」をご覧ください。

●セーフモードでパソコンを起動してみる

電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

1　パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2　パソコン本体の電源を入れる

3　「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す

4　「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「セーフモード」を選び、【Enter】を押す

「オペレーティングシステムの選択」が表示されたときは、「Microsoft Windows XP Professional」を選んで、【Enter】を押してください。Windowsが起動します。

5　ユーザー選択の画面が表示されたら、自分のユーザーアカウントを選んでログオンする

これで、パソコンはセーフモードで起動しました。

> この方法でトラブルが解決しなかった場合は、次の「データのバックアップを取る」（p.48）で大切なデータをバックアップした後で、「システムの復元を試みる」（p.48）へ進んでください。

メモ

セーフモードは、Windowsの機能を限定して、必要最小限のシステム環境でパソコンを起動する、Windowsの起動モードのひとつです。通常の操作ではパソコンが起動しない場合でも、セーフモードならば起動できることがあります。
セーフモードについて、詳しくは「スタート」-「ヘルプとサポート」-「問題を解決する」-「問題のトラブルシューティング」-「Windowsをセーフモードで起動する」をご覧ください。

チェック!!

- セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。
- 手順3で「NEC」のロゴが表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、Num Lockランプが点灯するタイミングで、【F8】を何度か押してください。
- 手順4で「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。
- セーフモードで起動した後、「スタート」-「終了オプション」-「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。

●データのバックアップを取る

パソコンでトラブルが起きたとき、Windowsそのものやこのパソコンに添付のソフトは、システムの修復や再セットアップで復元する（正常な状態に戻す）ことができますが、自分で作成した文書や、住所録、電子メール、インターネットの設定などはもとには戻せません。大切なデータを失わないためには、これらの方法をおこなう前にDドライブ、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに、必ずデータのバックアップを取ってください。

メモ

Dドライブは、ハードディスクの中にありますが、システムの修復やCドライブのみ再セットアップをおこなうときには影響を受けないので、一時的なバックアップ先には適しています。

チェック!!

Cドライブの領域を変更して再セットアップ、ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップする場合は、再セットアップ後にDドライブのデータも消えてしまいます。別途DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどへデータのバックアップを取っておいてください。

●システムの復元を試みる

システムの復元によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「ドキュメント」などに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック**

2 **「システムの復元」の画面が表示されたら、「コンピュータを以前の状態に復元する」が◉になっていることを確認し、「次へ」をクリック**

3 **カレンダーから復元したい日付をクリック**

太字で表示された日付から、トラブルが起きるようになる前の日付を選んでください。

4 **選択した日付の「復元ポイント」が複数表示されているときは、どれかをクリックして選択し、「次へ」をクリック**

5 **「復元ポイントの選択の確認」が表示されたら、内容を確認して「次へ」をクリック**

選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。

6 **「復元は完了しました」と表示されたら、「OK」をクリック**

これで、システムの復元は完了です。

チェック!!

・システムの修復をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを修復することで大切なデータが失われることがあります。
・システムの修復をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させてください。
・Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモードでパソコンを起動してみる」（p.47）でセーフモードで起動した後、システムの復元をおこなってみてください。

チェック!!

セーフモードで起動したときは、復元ポイントの作成はできません。

●「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する

セーフモードでもパソコンを起動できず､「システムの復元」も実行できないときでも、次の操作で起動できることがあります。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す**

3 **「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成（正しく動作した最新の設定）」を選び、【Enter】を押す**

「Windows拡張オプションメニュー」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

4 **「オペレーティングシステムの選択」と表示されたら、そのまま【Enter】を押す**

これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

手順2で「NEC」のロゴが表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、Num Lock ランプが点灯するタイミングで、【F8】を何度か押してください。

再セットアップする（Cドライブのみ）

このパソコン内にあるCドライブの内容をご購入時の状態に戻します。

ハードディスクに格納されている再セットアップ領域のデータ（NEC Recovery System）を、Cドライブに書き込んで再セットアップします。ハードディスクの領域の変更はしません。

●こんなことができます

Cドライブのデータを手軽にご購入時の状態に戻せます。Dドライブのデータは保護されます。

●こんなかたにおすすめ

再セットアップしたいほとんどのかたにおすすめします。まだパソコンに慣れていないかた、ハードディスクのフォーマットなどの経験がないかたは、必ずこの方法で再セットアップしてください。

●再セットアップの流れ

再セットアップは次の14項目の作業を連続しておこないます。項目によっては（　）内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットやLANの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOS（バイオス）の設定を初期値に戻す：初期値を変更している場合のみ
6. 別売の周辺機器（プリンタ、スキャナなど）を取り外す
7. システムを再セットアップする（約1時間）
8. Windowsの設定をする（約30分）
9. Office Personal 2007またはOffice Personal 2007 with PowerPoint 2007を再セットアップする（約10分）：Office 2007モデルのみ
10. 別売の周辺機器（プリンタ、スキャナなど）を取り付けて設定しなおす
11. 別売のソフトをインストールしなおす
12. バックアップを取ったデータを復元する
13. インターネット接続の設定などをやりなおす
14. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

チェック!!

・ハードディスクの状態をご購入時から変更（ダイナミックディスクなど）した場合、Cドライブのみ再セットアップすることはできません。
・この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります。
・再セットアップは中断しないでください。
・ハードディスクの状態をご購入時から変更（パーティションの追加・削除など）した場合、Cドライブのみの再セットアップができないことがあります。その場合は、ハードディスクを購入時の状態に戻して再セットアップをおこなってください。

再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップを取ってください。再セットアップすると、Cドライブに保存してあるデータはすべて失われます。

参照
バックアップについて→「データのバックアップを取る」(p.48)

1. 必要なものを準備する

このパソコンの添付品から、次のものを準備してください。

・「Microsoft® Office Personal 2007」CD-ROMとプロダクトキー（Office 2007モデルのみ）
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデルの場合、PowerPoint 2007のインストールCDとプロダクトキーも必要です。
・『ユーザーズマニュアル』(このマニュアル)

また、このパソコンのご購入後にお客様ご自身でインストールしたソフトを使うときは、そのソフトのインストールが必要です。使用するソフトに添付のマニュアルをご覧になり、インストールに必要なものを準備してください。

2. バックアップを取ったデータを確認する

「データのバックアップを取る」(p.48)でバックアップを取ったデータの内容を、もう一度確認してください。万一、バックアップに失敗しているものがあったり、バックアップを取り忘れていたデータが見つかったときは、バックアップを取りなおしてください。

3. インターネットやLANの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

・ユーザーID
・パスワード
・電子メールアドレス
・メールパスワード
・プライマリDNS
・セカンダリDNS
・メールサーバ
・ニュースサーバ

チェック!!
再セットアップしても、サインアップで得たインターネットのIDなどは無効にはなりません。必ず書き留めて、後で設定しなおしてください。

チェック!!
受信したメールや「お気に入り」に登録したURLは、再セットアップをおこなうと消えてしまいます。必要な場合は、メールやURLファイルのバックアップを取っておいてください。

4. ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー１」の欄に控えておきます。

	ユーザー名
ユーザー１（１人目）	
ユーザー２（２人目）	
ユーザー３（３人目）	
ユーザー４（４人目）	

5. BIOSの設定を初期値に戻す：初期値を変更している場合のみ

BIOSの設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、BIOSの設定を初期値（デフォルト値）に戻してください。なお、初期値に戻す前に、現在の設定内容をメモに取るなどして控えておくことをおすすめします。

6. 別売の周辺機器（プリンタ、スキャナなど）を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

7. システムを再セットアップする

LaVieをお使いの場合、次の操作を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源スイッチを押して電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F11】を何度か押す

チェック!!

家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合は、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。

チェック!!

ユーザー名を控えるときには、次の点に注意してください。

・大文字と小文字の区別に注意
・全角と半角の区別に注意
・入力ミスに注意（数字の「1」とアルファベットの「l」（エル）など）

チェック!!

BIOSの設定を初期値に戻すには、PART3の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」（p.82）をご覧になり、手順２からおこなってください。

チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで操作してください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

チェック!!

手順３で「NEC」のロゴが表示されず【F11】が押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、本体のNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F11】を何度か押してください。

4 「再セットアップツール」の画面が表示されたら、「開始」をクリック

5 「再セットアップとは」の画面が表示されたら「次へ」をクリック

6 「準備するもの」の画面が表示されたら、必要なものがそろっているか確認し、「次へ」をクリック

7 「再セットアップを始める前に」の画面が表示されたら「次へ」をクリック

8 「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、「Cドライブのみ再セットアップ」を選び「次へ」をクリック

9 「Cドライブのみ再セットアップ」の画面が表示されたら、「実行」をクリック

再セットアップが始まります。再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、電源スイッチなどに触れないでください。

10 「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック

パソコンが再起動されたら、次の「8. Windowsの設定をする」に進んでください。

8. Windows の設定をする

次の手順で操作してください。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されていることを確認する

2 「次へ」をクリック

3 「使用許諾契約」が表示されたら、「同意します」をクリックして○を◉にして、「次へ」をクリック

4 「コンピュータを保護してください」が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックして○を◉にして、「次へ」をクリック

5 「コンピュータに名前を付けてください」が表示されたら、そのまま、「次へ」をクリック

「NECPC」など好みの名前を入力してもかまいません。また、再セットアップする前に付けていた名前と異なるものを入力してもかまいません。

チェック!!

手順4で「再セットアップツール」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやり直してください。

チェック!!

再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードやパソコン本体の電源スイッチに触れないでください。再セットアップの進行中に数回「ピー」と音がすることがありますが、これは再セットアップ処理が正しく進んでいることを示すもので、故障ではありません。

チェック!!

処理が終了したことを示す画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。手順1から操作をやりなおしてください。

6 「管理者パスワードを設定してください」と表示されたら、管理者パスワードを2回入力して「次へ」をクリック

7 「このコンピュータをドメインに参加させますか？」と表示されたら、「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」がになっていることを確認し、「次へ」をクリック

8 「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されたら、そのまま「省略」をクリック

9 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」と表示されたら、「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックしてをにして、「次へ」をクリック

10 「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」と表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックしてをにして、「次へ」をクリック

11 「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」と表示されたら、あらかじめ控えておいたユーザー名を正確に入力して、「次へ」をクリック

12 「設定が完了しました」と表示されたら、「完了」をクリック

しばらくすると、「パソコンの診断が終了しました。」と表示されます。

13 をクリック

14 「121ポップリンクの設定」が表示されたら、「利用する」がになっていることを確認し、をクリック

15 「インターネット エクスプローラのホームページを設定します。」と表示されたら、BIGLOBEホームページかYahoo! JAPANホームページのいずれかを選んでにし、をクリック

16 「設定が完了しました。」と表示されたら、をクリック

17 「保護者の方へ」画面が表示されたら、表示された内容を確認し、をクリック

パソコンが再起動します。再起動後、「システムの復元ポイントの設定」の画面が表示されます。しばらくすると、もう一度再起動します。

これでWindowsの設定は終了です。

チェック!!

ここで、「アップデートを行います。」という画面が表示された場合は、画面の表示にしたがい「再セットアップ用DVD/CD-ROM(2枚目)」をセットし、「次へ」をクリックしてください。

メモ

121 ポップリンクは、お使いの機種に適した最新情報を NEC からインターネット経由でお届けするサービスです。

ホームページの設定は、セットアップ完了後に変更できます。変更方法について詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「使いやすい設定に変更する」-「Internet Explorer を使いやすくする」をご覧ください。

9. Office Personal 2007またはOffice Personal 2007 with PowerPoint 2007を再セットアップする

（Office 2007モデルのみ）

Office Personal 2007のインストール

1 **Office Personal 2007のインストールCD-ROMをセットする**

「Microsoft Office Personal 2007」の画面が表示されます。

2 **プロダクトキーを入力して、「次へ」をクリック**

「プロダクトキー」は、CD-ROMケースの裏面に貼ってあるシールに記載されています。

3 **「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みください」のライセンス条項にご同意いただければ、「「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」にチェックを付け、「次へ」をクリック**

4 **「今すぐインストール」をクリック**

インストールが始まります。

5 **正常にインストールされた旨のメッセージが表示されたら「閉じる」をクリック**

インストールCD-ROMをDVD/CDドライブから取り出してください。

PowerPoint 2007 のインストール(Office Personal 2007 with PowerPoint 2007 モデルの場合)

Office Personal 2007 のインストールが完了したら、PowerPoint 2007のインストールCD-ROMをDVD/CDドライブにセットし、「Office Personal 2007 のインストール」の手順2～5をおこなってください。

Office 2007 Service Pack 2のインストール

Office Personal 2007、PowerPoint 2007 のインストール(Office Personal 2007 with PowerPoint 2007 モデルの場合)のインストールが完了したら、次の手順でOffice 2007 Service Pack 2をインストールします。

1 **「スタート」-「ファイル名を指定して実行」をクリック**

「ファイル名を指定して実行」が表示されます。

2 **「名前」欄に次のように入力して、「OK」をクリック**

C:¥APSETUP ¥012SP2 ¥office2007-kb954711-fullfile-x86-glb-dvd2-p1.exe

「Microsoft Office 2007 Service Pack 2 (SP2) Part1」が表示されます。

3 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意するにはここをクリックしてください」のライセンス条項にご同意いただければ、チェックを付けて、「次へ」をクリック

4 「このパッケージのインストールを完了するため今すぐ再起動しますか？」と表示されたら「はい」をクリックしてパソコンを再起動する

これでインストールは終了です。

再セットアップ後、Office Personal 2007を最初に使用するとき

Outlook 2007やWord 2007などのソフトを最初に使用するときは、ライセンス認証に関する画面が表示されます。表示された内容をよく読んで、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

10. 別売の周辺機器（プリンタ、スキャナなど）を取り付けて設定しなおす

1 パソコンの電源を切る

2 取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう

11. 別売のソフトをインストールしなおす

パソコンに別売のソフトをインストールしていた場合は、それぞれのソフトに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

12. バックアップを取ったデータを復元する

「データのバックアップを取る」(p.48)でバックアップしたデータを復元してください。

13. インターネット接続の設定などをやりなおす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ（入会申し込み）をやりなおす必要はありません。

チェック!!

インストールが終了したら、必ずMicrosoft Updateを実行し、最新の状態にしてください。Microsoft Updateについて詳しくは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「Windowsを更新する」をご覧ください。

チェック!!

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、ご利用の周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

14. Windows やウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows アップデートやMicrosoft Update、その他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windows のヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

C ドライブの領域を変更して再セットアップする

このパソコン内にあるCドライブとDドライブの領域を変更してから、Cドライブをご購入時の状態に戻します。

初心者のかたや、ハードディスクの知識があまりないかたは、「再セットアップする（C ドライブのみ）」（p.50）をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域サイズを30Gバイトから1Gバイト単位で変更できます。Cドライブの領域サイズは、最大でもハードディスク全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズとなります。
Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

●こんなことができます

・C ドライブのサイズを変更する

●こんなかたにおすすめ

・パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかた
・ハードディスクの領域を変更したいかた

再セットアップ手順

1 **このPARTの「再セットアップする（Cドライブのみ）」（p.50）をご覧になり、「1.必要なものを準備する」～「7.システムを再セットアップする」の手順1 ～ 7までの作業をおこなう**

2 **「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をクリック**

3 **「次へ」をクリック**

4 **「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック**

5 **「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、Cドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック**

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。
再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」（p.53）以降の説明を参考にしてください。

チェック!!

・この方法で再セットアップをおこなうと、C ドライブにあるデータが失われます。操作を始める前に、DVD-R や CD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
・外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。
・再セットアップ用 DVD / CD-ROM を使ってこの方法で再セットアップすると、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。
・ハードディスクの状態をご購入時から変更（パーティションの追加・削除など）した場合、C ドライブの領域を自由に作成して再セットアップできないことがあります。その場合は、ハードディスクを購入時の状態に戻して再セットアップをおこなってください。

チェック!!

C ドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、D ドライブのない構成になります。

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。

再セットアップ用 DVD/CD-ROMを作成する

再セットアップ用DVD/CD-ROMの作成手順を説明します。

再セットアップ用 DVD/CD-ROM とは

このパソコンは、ハードディスクに格納されている再セットアップ領域のデータ（NEC Recovery System）を使って、再セットアップをおこなうしくみになっています。
この再セットアップ領域のデータをディスクに保存したものが「再セットアップ用 DVD/CD-ROM」です。
このディスクを使ってパソコンを再セットアップすることができます。
また、パソコンを購入時の状態に戻したり、パソコン内のデータを消去することもできます。
Windows Vista® Business にアップグレードした後で再び Windows XPにする場合は、ここで作成した再セットアップ用DVD/CD-ROMが必要となります。

チェック!!

通常は、「再セットアップする（C ドライブのみ）」（p.50）をご覧になり、この方法で再セットアップしてください。

再セットアップ用 DVD/CD-ROM を作成する

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って再セットアップ用 DVD/CD-ROM を作成します。

チェック!!

- 再セットアップ用DVD/CD-ROMは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。
- 手動で再セットアップ領域のデータを削除した場合などは、再セットアップ用 DVD/CD-ROM を作成できません。

未使用のディスクを準備する

必要なディスクの枚数は、次ページの手順３の画面で確認してください。
作成には、CD1 枚につき最大約 30 分、DVD1 枚につき最大約 100 分かかります。

- 必ず次の容量のディスクを用意してください。
  CD-R ディスクの場合：700M バイトまたは 650M バイトのもの
  DVD-R/+R ディスクの場合：4.7G バイトのもの
  DVD+R（2 層）ディスクの場合：8.5G バイトのもの
- DVD-R/+R ディスク、またはDVD+R（2層）ディスクを使用する場合、１枚目以外は同じ種類のディスクを用意してください。
- 次のディスクは使用できません。
  CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM

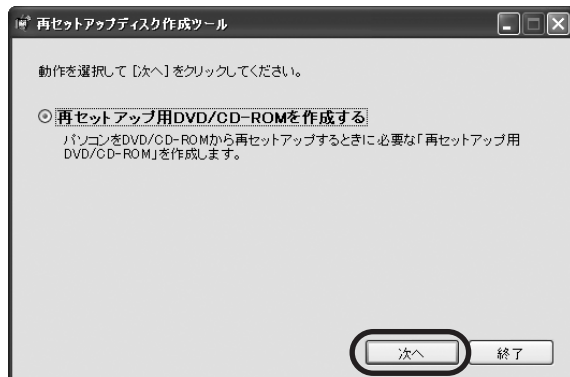
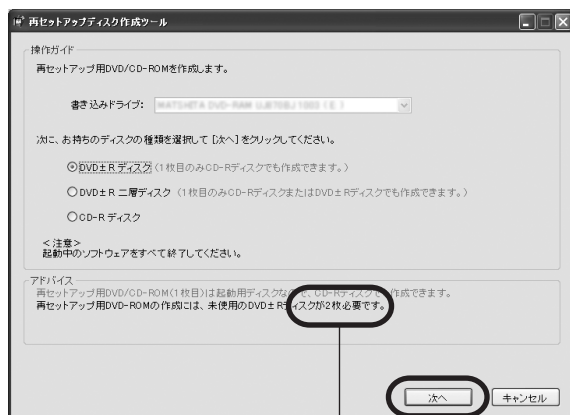
チェック!!

データ書き込みには「Roxio Creator LJ」というソフトが必要です。このパソコンにあらかじめインストールされていますが、削除してしまっているときは、追加しておいてください。ソフトを追加する方法については、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフトの追加と削除」をご覧ください。

・ 作成済みの再セットアップディスクも販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
URL：http://nx-media.ssnet.co.jp/

作成の手順

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アプリケーション」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック

2 次の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

3 次の画面が表示されたら、ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック

ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

ほかのソフトが起動していると、ディスクへの書き込み中にエラーが発生することがあります。起動中のソフトや常駐プログラム（ウイルス対策ソフトなど）はすべて終了してください。また、スクリーンセーバーが起動しないように設定してください。

チェック!!

・ DVD-R/+R ディスクを選んだ場合でも、1枚目はCD-Rディスクで作成できます。
・ DVD+R（2層）ディスクを選んだ場合でも、1枚目はCD-RディスクまたはDVD-R/+R ディスクで作成できます。

4 **次の画面が表示されたら、「次へ」をクリック**

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で、作成開始ディスク:の をクリックすると、途中から作成するように指定することもできます。

5 **用意したディスクをセットする**

アクセスランプが消えるまで待ってください。

6 **「作成開始」をクリック**

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

7 **「OK」をクリック**

8 **ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるようにラベル面に記入する**

続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。

作成した再セットアップ用DVD/CD-ROMは、紛失・破損しないように大切に保管してください

チェック!!

- 「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。
- 書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使って再セットアップする

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使ってできることを説明します。

●こんなことができます

・C ドライブのみの再セットアップ
「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.50)と同じ内容の再セットアップです。
・C ドライブの領域を変更して再セットアップ
「Cドライブの領域を変更して再セットアップする」(p.58)と同じ内容の再セットアップです。
・パソコンを購入時の状態に戻す
詳しくは「ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップする」(p.64)をご覧ください。
・パソコンのハードディスクのデータを消去
詳しくは「パソコン内のデータを消去する」(p.65)をご覧ください。
・Windows Vista® Business にアップグレードした後に、Windows XP に戻す
詳しくは「ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップする」(p.64)をご覧ください。

●こんなかたにおすすめ

・パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかた
・パソコンを購入時の状態に戻したいかた
・C ドライブの領域を最大にして利用したいかた

チェック!!

・このパソコンには、ハードディスクに格納されている再セットアップ領域のデータ(NEC Recovery System)があります。NEC Recovery Systemがハードディスク内にある場合、ハードディスクからパソコンの再セットアップがおこなえます。
・再セットアップ用DVD/CD-ROMを使った場合、NEC Recovery System は次のように変更されます。
Cドライブのみ再セットアップした場合:再セットアップ前にNEC Recovery Systemがハードディスク内にある場合は、NEC Recovery Systemは残ります。
Cドライブの領域を変更して再セットアップした場合:NEC Recovery System は削除されます。
パソコンを購入時の状態に戻した場合:NEC Recovery Systemは再作成されます(再セットアップ前に NEC Recovery System がない状態でも、再作成されます)。
パソコン内のデータを消去した場合:NEC Recovery Systemは削除されます。
・NEC Recovery System がハードディスク内にない場合、再セットアップをするには、再セットアップ用 DVD/CD-ROM を使う必要があります。

再セットアップ用 DVD/CD-ROM を使った再セットアップ手順

LaVieをお使いの場合、次の手順を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

1 作成した再セットアップ用DVD/CD-ROMを用意する

2 このPARTの「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.50)をご覧になり、「1. 必要なものを準備する」から「6. 別売の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す」までの作業をおこなう

3 パソコンの電源スイッチを押し、電源を入れる

4 **電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップ用DVD/CD-ROM（1枚目）をセットする**

5 **「再セットアップツール」の画面が表示されたら、「開始」をクリック**

ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップ用DVD/CD-ROMを順番にセットしてください。

6 **「再セットアップとは」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック**

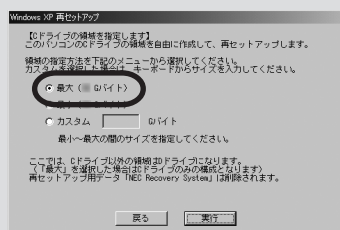
7 **「準備するもの」の画面が表示されたら、必要なものがそろっているか確認し、「次へ」をクリック**

8 **「再セットアップを始める前に」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック**

9 **「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、再セットアップの種類を選び、「次へ」をクリック**

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.53)以降の説明を参考にしてください。

Cドライブの領域を最大にするには

手順９で「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」を選び、領域の設定画面で「最大」を選んで再セットアップすると、Cドライブの領域を最大にすることができます。

チェック!!

手順５で「再セットアップツール」の画面が表示されず、通常のWindowsデスクトップが表示されてしまったときは、再セットアップ用DVD/CD-ROMをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

チェック!!

- 再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードやパソコン本体の電源スイッチに触れないでください。
- ハードディスクのフォーマットまたは再セットアップがおこなわれている間は、画面に指示が表示されないかぎり、ディスクを取り出したり、電源スイッチに触れたりしないでください。

チェック!!

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使用してCドライブの領域を最大にした場合、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。そのため、以降、再セットアップをする場合は再セットアップ用DVD/CD-ROMが必要になります。

ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップする

このパソコンのハードディスクをすべてご購入時の状態に戻します。

初心者のかたや、ハードディスクの知識があまりないかたは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.50)をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブおよび Dドライブをすべてご購入時の状態に戻します。
Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

●こんなことができます

- ハードディスクをすべてご購入時の状態に戻す
- Windows Vista® Business にアップグレードした後に、Windows XP に戻す

●こんなかたにおすすめ

- Cドライブの領域を変更して再セットアップした後で、元の状態に戻したいかた

再セットアップ手順

1 **このPARTの「再セットアップ用DVD/CD-ROMを使った再セットアップ手順」(p.62)の手順1 ～ 8までの操作をおこなう**

2 **「ハードディスクを購入時の状態に戻して再セットアップ」をクリック**

3 **「次へ」をクリック**

4 **「ハードディスクを購入時の状態に戻して再セットアップ」の画面が表示されたら、「実行」をクリック**

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.53)以降の説明を参考にしてください。

再セットアップ中に、再セットアップ用DVD/CD-ROMの入れ替えや再起動などの指示が画面に表示されます。内容をよく確認して作業を進めてください。
再セットアップ用DVD/CD-ROMを取り出して再起動した後、「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されたら、「8.Windows の設定をする」(p.53)へ進んでください。

チェック!!

- この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
- 外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。

パソコン内のデータを消去する

このパソコンのハードディスクにあるデータを復元されにくい形で消去します。

このパソコンのハードディスクのデータ消去をおこないます。
ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows XP標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスクのデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄するときにご利用ください。
なお、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

・かんたんモード（1回消去）
　ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。復元ソフトによるデータの復元ができなくなります。
・しっかりモード（3回消去）
　米国国防総省NSA準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全に消去できます。
　ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。
・しっかりモードプラス（3回消去＋検証）
　米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。
　「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。
　3回消去をおこなうことにより、より完全に消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

チェック!!

・この操作をおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、必要に応じてDVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
・外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。

ハードディスクのデータ消去手順

1 このPARTの「再セットアップ用DVD/CD-ROMを使った再セットアップ手順」(p.62)の手順1 ～ 8までの操作をおこなう

2 「ハードディスクのデータ消去」をクリック

3 「次へ」をクリック

4 「ハードディスクのデータ消去」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

5 画面の説明を読んで、問題がなければ「実行」をクリック
以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

ハードディスクのデータ消去を始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。

PART

3

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、このPARTで説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。
パソコンが使える場合は、電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「解決する」もあわせてご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。
パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源コードや AC アダプタをコンセントから抜いて、NEC にご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、マウスを動かしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。
パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。
電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windows をいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇この PART「トラブル解決 Q&A」

◇このパソコンに入っている電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「解決する」

◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル

◇Windows の「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NEC のパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

http://121ware.com/support/をご覧ください。

◇マイクロソフトサポート技術情報

Windowsに関するトラブル情報が検索できます。
http://support.microsoft.com/default.aspx?LN=JAをご覧ください。

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口に電話する

どうしても解決できないときは、サポート窓口に問い合わせてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECのサポート窓口「121コンタクトセンター」については、添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。

「サポートナビゲーター」でトラブル解決

パソコンのトラブルを解決するのに役立つのは、このマニュアルだけではありません。このパソコンに入っている電子マニュアル「サポートナビゲーター」を活用してください。

「サポートナビゲーター」の使い方

●起動方法

画面左にある「サポートナビゲーター（電子マニュアル）」アイコンをダブルクリック

次に「サポートナビゲーター」の「解決する」をクリック

●使い方

画面左の「困ったときには」を選択し、起きているトラブルをクリック。画面を見ながら解決方法を確認していきます。

このパソコンの機能や機器の増設情報も

「サポートナビゲーター」は、トラブル解決だけでなく、このパソコンのソフトや機能についての情報も数多く掲載しています。
特に「使いこなす」-「パソコンの機能」では、省電力機能/表示機能/サウンド機能などの機能や、本体カバーの開け方/メモリの増設/各種コネクタ類の説明など機器増設の際に必要な情報を紹介しています。

パソコンの様子がおかしい

パソコンが異常に熱を持ったとき、変なにおいがしたときなど、様子がおかしいと思ったらここをご覧ください。いきなり電源コードを抜いたりせず、落ち着いて対処しましょう。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手で触れないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源コードをコンセントから抜き、バッテリを外して(LaVie Gシリーズの場合)NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。
電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

ピーッというエラー音がした

もしフロッピーディスクドライブを接続している場合は、フロッピーディスクを取り出してからWindowsを起動してください。セットされているフロッピーディスクの種類によっては、ピーッというエラー音がすることがあります。
または、ハードディスクの障害の可能性があります。メッセージや症状を書き留め、NEC 121コンタクトセンターへお問い合わせください。

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態で、なにも作業をしていないときに、ハードディスクが勝手に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためで、問題はありません。
ただし、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを実行してください。
それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

メモ

データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

ファンの音が大きい

パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン(換気装置)があります。
ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
あまりにも異常な音がするときは、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

音が出ない

VALUESTAR Gシリーズの場合、すでに消音状態(ミュート)のときにキーボードの音量ボタンの＋や－を押しても消音は解除されません。
消音を解除するには、もう一度消音を押してください。

急に動かなくなった、フリーズした

ソフトや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることがあります(この状態をフリーズ、またはストール、ハングアップといいます)。このような場合は、次の操作をおこなってください。

異常が起きているソフトを終了させる

ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

1 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押す

「Windows タスクマネージャ」の画面が表示される

2 アプリケーションの「タブ」をクリック

動作が止まっているように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。あわてる前に、画面の表示状態やCD/ハードディスクアクセスランプが点灯していないかなどをよく確認しましょう。

メモ

画面が突然真っ暗になったときには、パソコンが省電力状態になったことが考えられます。省電力状態から復帰するには、電源スイッチを押します。
詳しくは「ディスプレイに何も表示されない」(p.77)をご覧ください。

チェック!!

- 「Windows タスクマネージャ」の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。
- ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

3 右側に「応答なし」と表示されているソフト(アプリケーション)をクリックして、「タスクの終了」をクリック

この方法でソフトが終了できなかったり、終了できても、正しい電源の切り方で電源が切れないときは、次の操作をおこなってください。

強制的に電源を切る

1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける

通常、4秒以上押し続けるとパソコンの電源が切れます。

2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す

パソコンの電源が入り、場合によっては、「ディスクのチェック」が自動的に始まり、ハードディスクがチェックされます。「ディスクのチェック」で異常が発見されなかったときや、「ディスクのチェック」が実行されなかったときは、そのままWindowsが起動します。

3 「スタート」をクリックし、「終了オプション」をクリック

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

4 「電源を切る」をクリック

パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう1度4秒以上パソコンの電源スイッチを押し続けてください。

VALUESTAR Gシリーズで、上記の操作でも電源が切れないときは、いったんパソコン本体とディスプレイの電源コードを電源コンセントから抜いて、90秒以上待ってから電源コンセントに入れなおしてみてください。

それでも症状が改善しない場合は、NEC121コンタクトセンターにご相談ください。NEC121コンタクトセンターについては添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。

チェック!!

- 頻繁に強制終了をおこなうとハードディスクが故障することがあります。
- 強制終了をおこなうと直後の再起動時に「ディスクのチェック」が自動的に起動することがあります。

チェック!!

- 「ディスクのチェック」の結果、何かメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。うまく起動できなかった場合は、「PART2 再セットアップ」(p.45)をご覧になり、システムの修復または再セットアップをおこなってください。

マウス、キーボード、NXパッド

マウスやキーボード、NXパッドが正しく動作しなかったり、反応しないときはここをご覧ください。

マウスを動かしても、キーボードのキーを押しても、NXパッドに触れても反応しない、反応が悪い

マウスポインタが⌛の形に変わっていませんか?

マウスポインタが⌛の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスやキーボード、NXパッドの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っていてください。

しばらく待っても、マウスやキーボードの操作ができないとき

ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.71)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

チェック!!

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示やCD/ハードディスクアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

・VALUESTAR G シリーズの場合

マウスは正しく取り付けられていますか?

マウスがパソコンのUSBコネクタにしっかり接続されていないと、マウスが正しく動作しません。
『セットアップマニュアル』をご覧になり、正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続しなおしてください。

キーボードは正しく取り付けられていますか?

キーボードとパソコン本体がしっかり接続されていないと、キーボードが正しく動作しません。
『セットアップマニュアル』をご覧になり、正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続しなおしてください。

マウスポインタの設定を変えていませんか?

ソフトによっては、マウスポインタの設定によりポインタが表示されなくなることがあります。

参照

マウスポインタの設定について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「マウス」

NXパッドが反応しない、または反応が鈍い

・LaVie G シリーズの場合

指先やNXパッドが汚れていませんか？

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

NXパッドの二か所以上に同時に触れていませんか？

NXパッドの二か所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。一か所だけに触れるようにしてください。

キー入力をしながらNXパッドを操作しようとしていませんか？

ご購入時の設定では、誤動作防止のため、キー入力時のNXパッド操作ができないようになっています。キー入力が終わってからNXパッドを操作するか、次の手順で設定を変更してください。

1. **「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとその他のハードウェア」-「マウス」をクリック**
   「マウスのプロパティ」が表示されます。
2. **「タッピング」タブの「タイピング」の「キー入力時タップ・ポインタ移動しない」のチェックを外す**
3. **「OK」をクリック**
   これで、キー入力時にNXパッドを操作できるようになります。

NXパッドを無効にする設定になっていませんか？

USBマウスを接続して次の手順で設定を変更してください。

1. **「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとその他のハードウェア」-「マウス」をクリック**
   「マウスのプロパティ」が表示されます。
2. **「USBマウス接続時の動作」タブをクリック**
3. **「USBマウスと同時に使用する」を選ぶ**
4. **「OK」をクリック**
   これで、NXパッドが有効になります。

光センサーマウスが正しく動作しない

光センサーマウスは、マウス底面にある赤い光をセンサーで検知することで、マウスの動きを判断しています。
次のような表面では正しく動作しない(操作どおりにマウスポインタが動かない)場合があります。

- **反射しやすいもの(鏡、ガラスなど)**
- **白いもの・光沢があるもの(透明、半透明な素材を含む)**
- **網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの(雑誌や新聞の写真など)**
- **濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの**

操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光沢のない印刷用紙や光学式マウスに対応したマウスパッドなどの上で操作してください。

マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった

・VALUESTAR G シリーズの場合

やわらかい布などでふき取ってください。キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

・LaVie G シリーズの場合

そのまま使い続けると、キーボードの故障の原因になることがあります。NEC121 コンタクトセンターにお問い合わせください。

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、マウス、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になります。

参照

・マウス、キーボードのお手入れ→付録の「パソコンのお手入れ」(p.107)
・NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

電源のトラブル

電源を入れたとき、電源を切ろうとしたときにトラブルが発生したときは、こちらをご覧ください。

電源スイッチを押しても電源が入らない

まれに、パソコン本体に電荷が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

チェック!!

放電を確実におこなうため、電源コードはしばらくコンセントから抜いたままにしておいてください。

- **VALUESTAR G シリーズの場合**

1. **電源コードをコンセントから抜く**
2. **パソコン本体の電源スイッチを2、3回押す**
   電源コードをコンセントから抜いた状態で電源スイッチを2、3回押すことで、本体に帯電した電荷が放電されます。
3. **そのまましばらく放置した後(90秒程度)、電源コードを正しく接続しなおす**
4. **パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れる**

- **LaVie G シリーズの場合**

1. **電源コードをコンセントから抜き、バッテリを外す**
   バッテリの外し方については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
2. **そのまましばらく放置した後、バッテリを取り付け、電源コードを正しく接続しなおす**
3. **パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れる**

この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、パソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

電源コードをまちがって抜いた、停電で急に電源が切れた

・ VALUESTAR G シリーズの場合

おちついて電源コードを差し込んで、パソコンの電源を入れなおしてください。
普段どおりパソコンが起動して、Windowsの画面が表示されれば大丈夫です。
おかしな画面が表示されたときは、この後の項目からその現象を探してください。

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

DVD/CD-ROMやフロッピーディスクなどがDVD/CDドライブやフロッピーディスクドライブにセットされている場合は、すべて取り出してから電源を切ってください。

正しい電源の切り方

1 **デスクトップの「スタート」をクリックし、「終了オプション」をクリック**

2 **「電源を切る」をクリック**
しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、ソフトに異常が起きていると考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.71)をご覧になり、異常が起きているソフトを終了してください。それでも電源が切れないときは、「強制的に電源を切る」(p.72)の操作をおこなってください。

ディスプレイに何も表示されない

パソコンの電源を入れたときにディスプレイに何も表示されないときや、パソコンを使っていて画面が真っ暗になったときは、パソコン本体の電源ランプ、ディスプレイの電源ランプの状態を確認してください。

パソコン本体の電源ランプが消えているとき。または、オレンジ色に点灯（VALUESTAR G シリーズ）あるいは点滅（LaVie G シリーズ）しているとき

☹➡☺ パソコン本体の電源スイッチを押してください。

画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。
このパソコンは、ご購入時には一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態になるように設定されています。

☹➡☺ パソコン本体の電源コードなどは正しく接続されていますか？

一度、電源コードをコンセントから抜き、『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
電源コードなどすべてのケーブルを正しく接続しなおして、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、パソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

・LaVie G シリーズの場合

☹➡☺ バッテリパックは正しく取り付けられていますか？

『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度バッテリパックの取り付け状態を確認してください。

☹➡☺ バッテリは十分充電されていますか？

電源コードを接続していない状態でバッテリ容量が不足していると、パソコンの電源は入りません。電源コードを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。電源コードを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターへお問い合わせください。

パソコン本体の電源ランプが緑色に点灯（VALUESTAR G シリーズ）あるいは白色に点灯（LaVie G シリーズ）しているとき

☹➡☺ キーボードのキー（【Shift】など）を押すか、マウスを軽く動かしてみてください。

画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。

チェック!!

電源が入っているとき（省電力状態のときも含む）に、4 秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。強制的に電源を切るともとの状態に復帰できなくなります。

参照

NEC 121 コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。

休止状態の間に、コンピュータの設定を変更したり周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？

休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

パソコン本体やディスプレイのケーブルなどは正しく接続されていますか？

『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
すべて正しく接続されているのにディスプレイに何も表示されないときは、ディスプレイまたはパソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

- **VALUESTAR G シリーズの場合**

ディスプレイの電源ランプが消えていませんか？

ディスプレイの電源ランプが点灯していないときは、いったんパソコン本体の電源を切ります。ディスプレイに添付のマニュアルをご覧になり、ディスプレイの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れなおしてください。

ディスプレイの輝度(明るさ)が小さくなっていませんか？

ディスプレイに添付のマニュアルをご覧になり、画面の輝度(明るさ)を調節してください。

パソコン起動後にディスプレイの接続をおこなっていませんか？

パソコン起動後にディスプレイを接続してもディスプレイには何も表示されないことがあります。このような場合は、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けていったん強制的に電源を切り、5秒以上待ってからもう一度電源を入れなおしてください。

メモ

フロッピーディスクや CD-ROM から起動したいときは、システムファイルが入ったものと入れ替えてから、電源を入れなおしてください。

チェック!!

パソコンの電源が入っているときは、添付のディスプレイとパソコン本体を接続するケーブルの抜き差しはおこなわないでください。電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを４秒以上押し続けてください。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

・**LaVie G シリーズの場合**

ディスプレイの輝度(明るさ)が小さくなっていませんか?

「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「表示機能」をご覧になり、画面の輝度を調節してください。

外部ディスプレイを接続していませんか?

外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイに設定しているときは、パソコンの液晶ディスプレイには画面が表示されません。
画面を表示させるには、キーボードの【Fn】+【F3】を押すか、画面のプロパティの設定で画面の出力先を変更してください。画面のプロパティの設定手順については、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「表示機能」をご覧ください。(出力先を画面のプロパティで変更すると、変更後の画面に設定の確認メッセージが表示されます。そのまま何も操作しないと画面の出力先は変更前の状態に戻ります。いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます)
また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。

「Windows 拡張 オプション メニュー」が表示された

「セーフ モード」を選んで、【Enter】を押し、Windowsをセーフモードで起動します。
セーフモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。
「スタート」メニューの「終了オプション」から「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、もとの状態に戻ります。
セーフモードで起動できなかった場合や、再起動しても問題が解決しなかった場合は、システムに障害が発生している可能性があります。PART2「再セットアップ」をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源を入れると、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、「セーフモードでパソコンを起動してみる」(p.47)をご覧になり、パソコンを「セーフモード」で起動してみてください。

「オペレーティングシステムの選択」が表示された

「Microsoft Windows XP Professional」を選んで、【Enter】を押してください。Windowsが起動します。

画面に英語のエラーメッセージが表示される

「Checking file system on」と表示された場合

パソコンの電源を切る際に、Windowsは作業中のファイルをディスクに保存しなおすなどのいくつかの処理をおこないます。その処理が正しくおこなわれなかった場合に、このメッセージが表示されます。
このメッセージが表示された後しばらくすると、自動的に、ハードディスクに異常が発生していないかどうかチェックする処理が始まります。ハードディスクに異常がなければそのままWindowsが起動します。以降は問題なくお使いいただけます。
Windowsが正常に起動しなかった場合は、画面にメッセージが表示されますので、その内容をよく読んで対処してください。

「Invalid system disk」、「Operating System not found」などのメッセージが表示された場合

フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどを取り出してから、何かキー(【Enter】など)を押してください。ハードディスクからWindowsが起動します。
フロッピーディスクやCD-ROMなどがセットされていないのにこれらのメッセージが表示される場合は、ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態になっています。PART2「再セットアップ」をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

カーソルが表示されたきり、何も表示されない

フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどを取り出してから、再起動してください。
ハードディスク内のWindowsが起動します。

パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない

BIOSセットアップユーティリティで、パソコンの使用環境を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。

1 別売の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻します。

2 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら【F2】を押します。
BIOSセットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 キーボードの【F9】を押します。
セットアップ確認の画面が表示されます。

4 表示された画面で「はい」または「Ok」を選んで【Enter】を押します。
システムの設定が初期値に戻ります。

5 【F10】を押します。
セットアップ確認の画面が表示されます。

6 表示された画面で「はい」または「Ok」」を選んで【Enter】を押します。
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

チェック!!

「BIOS セットアップユーティリティ」で設定したパスワードは、左の操作をおこなっても初期値には戻りません。

参照

BIOS セットアップユーティリティについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「BIOSセットアップユーティリティ」

チェック!!

- 手順2で【F2】を押してもBIOSセットアップユーティリティの画面が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何度か【F2】を押してください。
- ディスプレイの特性により手順2で「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードのNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F2】を何度か押してください。
- 手順3、手順5で表示されるメッセージは、機種によって異なります。

省電力機能

省電力状態(休止状態/スタンバイ)からもとの状態に戻れなくなったときや、省電力機能が使えないときは、ここをご覧ください。

省電力状態になる前の状態の画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

ソフトや周辺機器は省電力機能(休止状態/スタンバイ)に対応していますか?

対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

コマンドプロンプトがアクティブのときにスタンバイ状態から復帰させたが画面が表示されない

【Alt】+【Tab】を押してタスクを切り換えると、正常に動作するようになります。

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか?

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記録)した内容は消えてしまう場合があります。

フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか?

フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされている状態で省電力状態から復帰すると、正しく復帰できずにフロッピーディスクやCD-ROMから起動してしまうことがあります。
省電力状態にする場合には、フロッピーディスクやCD-ROMを取り出してから省電力状態にするようにしてください。なお、フロッピーディスクを取り出す前に、必要なファイルは保存してください。

参照

省電力機能について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

・VALUESTAR Gシリーズの場合

電源コードは正しく接続されていますか(スタンバイ状態のとき)?

電源コードを正しくコンセントに接続します。電源コードが正しく接続されていなかった場合、作業内容は保持(記録)されない場合があります。

スタンバイ状態のときに停電したり、電源コードが抜けたりしませんでしたか?

スタンバイ状態のときに停電したり、電源コードが抜けたりすると、保持(記録)された内容は消えてしまう場合があります。

・LaVie Gシリーズの場合

パソコンがWindowsの終了処理をおこなっている途中で、次の操作をしませんでしたか?

・液晶ディスプレイを閉じた
・省電力状態にした
・電源を切った

このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。

バッテリの残量が少なくなっていませんか?

ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

省電力状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にCD-ROMなどを入れ替えたとき
・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
・省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

・プリンタで印刷しているとき
・サウンド機能により音声を再生しているとき
・ハードディスクを読み書き中のとき
・CD-ROMなどを読み取り中のとき
・省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

省電力状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

パスワード

Windowsを起動したときにパスワードを入力してもログオンできない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「パスワードをお確かめください。」と表示される

Ⓐ(キャップスロックキーランプ)や①(ニューメリックロックキーランプ)の設定が違っていませんか?

キャップスロックキーランプやニューメリックロックキーランプの状態がパスワード設定時と異なっていると、パスワードが正しく入力できない場合があります。ランプの状態を確認して、パスワードを設定したときと同じ状態にしてからパスワードを入力しなおしてください。

パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

「ようこそ」画面のパスワード入力欄の右の?をクリックしてください。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、その「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。

どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードを設定しなおす必要があります。「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名を登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」の「ユーザー アカウント」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。
くわしくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

BIOSセットアップメニューで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップメニューを起動できません。NEC 121コンタクトセンターにご相談ください。

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

NEC 121コンタクトセンターでは、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、またハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードは忘れないよう、十分注意してください。

チェック!!

- ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイトまたはネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。
- 「制限ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、左のパスワードの設定操作はできません。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

その他

ここまでで、あなたのパソコンのトラブルが見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「サポートナビゲーター」やほかのマニュアル、ヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

ウイルスに感染したらしい

コンピュータウイルスに感染した場合は、すぐにインターネット接続のために使っているLANケーブルなどをパソコンから取り外し、ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」を使って、ウイルスを駆除し、被害を届け出ましょう。
届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先
独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
IPAセキュリティセンター
FAX：03-5978-7518
E-mail：virus@ipa.go.jp
URL：http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
(IPA)コンピュータウイルス110番
TEL：03-5978-7509

参照
「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」

DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった

DVDやCDの再生中または書き込み中ではありませんか？

DVDやCDの再生中または書き込み中のときは、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。停止させてからディスクを取り出してください。

パソコンの電源は入っていますか？

パソコンの電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。

パソコンを再起動してからイジェクトボタンを押してください。

アクセスランプが消えていることを確認した後いったんパソコンの電源を切り、もう一度電源を入れてください。パソコンが起動してから、イジェクトボタンを押してください。
DVD/CDドライブの故障などが原因でディスクを取り出せなくなったときは、非常時ディスク取り出し穴を使ってディスクを取り出します。詳しい手順については、「付録」をご覧ください。

パソコンを落とした

外観上、特に問題なさそうなら、とりあえず電源を入れてみてください。正常に動作するようならば、ひと安心です。万一、電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードをコンセントから抜いて、NEC 121コンタクトセンターにご相談ください。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

「デバイスマネージャ」、「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」に表示された機能が使用できない

次の機能(HDMI)は、デバイスマネージャ、およびサウンドとオーディオデバイスのプロパティに表示されていても、使用することはできません。

・Intel(R) High Definition Audio HDMI Service

PART

4

Windows Vistaにする

このパソコンのOSをWindows Vista® Businessにする方法について説明しています。
Windows Vista® Businessにすることで、さまざまな機能を使用することができます。

Windows Vistaへの再セットアップについて

このパソコンに添付されているWindows Vistaの再セットアップディスクを使って、このパソコンをWindows Vista® Businessにアップグレードすることができます。

Windows Vista® Business の再セットアップについて

このパソコンには、Windows Vistaの再セットアップディスクが添付されています。Windows XPの再セットアップディスクは添付されていません。
Windows Vista® Businessにアップグレードした後で、再びWindows XPにする場合は、あらかじめWindows XPの「再セットアップ用DVD/CD-ROM」を作成しておく必要があります。

参照
再セットアップ用DVD/CD-ROMの作成について→PART2の、「再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成する」(p.59)

パソコンの機能について

このパソコンのOSをWindows Vista® Businessにすることで、次の機能が使えるようになります。

●VALUESTAR G シリーズの場合

・別途、CPRMのアップデートをおこなうことで、「WinDVD for NEC」でCPRMコンテンツを再生できるようになります
・音量や画面の輝度を調節したときに、画面に表示が出るようになります
・キーボードの【ソフト】ボタンを押したときに、「ソフト&サポートナビゲーター」が起動するようになります
・キーボードの【消音】ボタンを押して消音状態にしているときに、キーボードのボリュームボタンを操作すると、消音状態が解除されるようになります
・ECOボタンで設定できる電源プランが2種類になります
・USBマウスでズーム機能が使用できるようになります

※:詳しくは、Windows Vista用のマニュアルをご覧ください。

参照
Windows Vista用のマニュアルについて→このPARTの「Windows Vistaのマニュアルについて」(p.98)

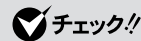
●LaVie G シリーズの場合

- 別途、CPRM のアップデートをおこなうことで、「WinDVD for NEC」で CPRM コンテンツを再生できるようになります
- 音量や画面の輝度を調節したときに、画面に表示が出るようになります
- キーボードの【ソフト】ボタンを押したときに、「ソフト＆サポートナビゲーター」が起動するようになります
- キーボードの【Fn】を押しながら【Caps Lock】を押すことで、NXパッド部分をテンキーとして使用できる「光るテンキーパッド」機能が使用できるようになります
- NXパッドで文字を手書き入力できる「手書きでお助けパッド」が使用できるようになります
- ECO ボタンで設定できる電源プランが「LaVie バランス」と「LaVie ECO」の２種類になります。「LaVie ECO」に※すると、ECO ボタンのランプが点灯します
- USBマウスで、横スクロールおよびズーム機能が使用できるようになります

※：詳しくは、Windows Vista 用のマニュアルをご覧ください。

その他、Windows Vista 固有の機能については、Microsoft のホームページでご確認ください。

参照

Windows Vista用のマニュアルについて→このPARTの「Windows Vista のマニュアルについて」（p.98）

チェック!!

「LaVie ECO」にすると、輝度の自動調節が有効になります。

Windows Vistaに再セットアップする

Windows Vista® Businessに再セットアップする手順について説明します。

●再セットアップの流れ

このパソコンに添付されているWindows Vistaの再セットアップディスクを使って再セットアップをすることで、OS を Windows Vista® Business にします。
再セットアップは次の 14 項目の作業を連続しておこないます。項目によっては(　)内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットや LAN の設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ
6. 別売の周辺機器 (メモリ、プリンタ、スキャナなど) を取り外す
7. システムを再セットアップする (約 1 時間)
8. Windows の設定をする (約 30 分)
9. Office Personal 2007 または Office Personal 2007 with PowerPoint 2007 を再セットアップする (約 10 分) :Office 2007 モデルのみ
10. 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす
11. 別売のソフトをインストールしなおす
12. バックアップを取ったデータを復元する
13. インターネット接続の設定などをやりなおす
14. Windows やウィルス対策ソフトなどを最新の状態にする

●データのバックアップを取る

Windows Vista® Business への再セットアップをおこなうと、ハードディスク (C ドライブ、D ドライブ) のデータはすべて失われます。
アップグレードを始める前に、自分で作成した文書や、住所録、電子メールなどのデータを DVD-R や CD-R、外付けのハードディスクドライブなどにバックアップしてください。

チェック!!

Windows Vista® Business にアップグレードした後で、再び Windows XP にする場合は、あらかじめ Windows XP の「再セットアップ用 DVD/CD-ROM」を作成しておく必要があります。

参照

再セットアップ用DVD/CD-ROMの作成について→ PART2 の、「再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成する」(p.59)

チェック!!

再セットアップは中断しないでください。

1. 必要なものを準備する

再セットアップの作業を始める前に、Windows Vistaの再セットアップディスクと、このパソコンに添付されている『ユーザーズマニュアル』（このマニュアル）を準備してください。Office 2007 モデルの場合は、「Microsoft® Office Personal 2007」CD-ROM とプロダクトキーが必要です（Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデルの場合、PowerPoint 2007 のインストール CD とプロダクトキーも必要です）。

また、このパソコンのご購入後にお客様ご自身でインストールしたソフトを使うときは、そのソフトのインストールが必要です。使用するソフトに添付のマニュアルをご覧になり、インストールに必要なものを準備してください。

ウイルスバスターをご利用している場合は、Windows Vista® Business に再セットアップ後もライセンスを引き継ぐことができます。再セットアップする前に、ウイルスバスターのシリアル番号をメモしておいてください。

チェック!!

再セットアップ後にソフトをインストールする場合は、そのソフトがWindows Vista に対応しているかどうか、あらかじめソフトの開発元のホームページなどで十分確認してください。Windows Vistaに対応していないソフトやドライバなどをインストールすると、不具合が起こる場合があります。

2. バックアップを取ったデータを確認する

「データのバックアップを取る」でバックアップを取ったデータの内容を、もう一度確認してください。万一、バックアップに失敗しているものがあったり、バックアップを取り忘れていたデータが見つかったときは、バックアップを取りなおしてください。

- 再セットアップしても、サインアップで得たインターネットのIDなどは無効にはなりません。必ず書き留めて、後で設定しなおしてください。
- 受信したメールや「お気に入り」に登録したURLは、再セットアップをおこなうと消えてしまいます。必要な場合は、メールやURLファイルのバックアップを取っておいてください。

3. インターネットやLANの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

・ユーザー ID
・パスワード
・電子メールアドレス
・メールパスワード
・プライマリ DNS
・セカンダリ DNS
・メールサーバ
・ニュースサーバ

4. ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー1」の欄に控えておきます。

	ユーザー名
ユーザー1（1人目）	
ユーザー2（2人目）	
ユーザー3（3人目）	
ユーザー4（4人目）	

5. BIOSの設定を初期値に戻す：初期値を変更している場合のみ

BIOSの設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、BIOSの設定を初期値（デフォルト値）に戻してください。なお、初期値に戻す前に、現在の設定内容をメモに取るなどして控えておくことをおすすめします。

6. 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルも取り外してください。LaVie Gシリーズでワイヤレス LANを使っているときは、ワイヤレススイッチをオフにしてください。

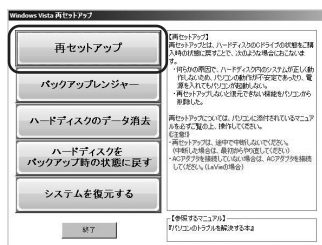
7. システムを再セットアップする

次の手順で操作してください。

1 Windows Vistaの再セットアップディスクを用意する

2 パソコン本体の電源を入れる

3 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク（1枚目）をセットする

4 「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップディスクを順番にセットしてください。

チェック!!

- 家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合は、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。
- ユーザー名を控えるときには、次の点に注意してください。
  - 大文字と小文字の区別に注意
  - 全角と半角の区別に注意
  - 入力ミスに注意（数字の「1」とアルファベットの「l」（エル）など）

チェック!!

BIOSの設定を初期値に戻すには、PART3の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」（p.82）をご覧になり、手順2からおこなってください。

チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

チェック!!

LaVie Gシリーズの場合、次の手順を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

チェック!!

- 「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。
- 画面に表示される『パソコンのトラブルを解決する本』は『ユーザーズマニュアル』（このマニュアル）に読み替えてください。
- この時点では「バックアップレンジャー」、「ハードディスクをバックアップ時の状態に戻す」、「システムを復元する」は利用できません。

5 「ハードディスクを購入時の状態に戻して再セットアップ」をクリック

6 以降は、画面の指示にしたがって操作する

再セットアップが始まり、「Symantec Ghost」の画面が表示されます。

再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。

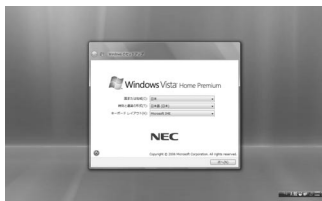
ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップディスクを順番にセットしてください。

7 「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、ディスクを取り出し、「再起動」をクリック

「再起動」をクリックして、パソコンが再起動したら、次の「8.Windowsの設定をする」へ進んでください。

8. Windows の設定をする

次の手順で操作してください。

1 「Windowsのセットアップ」の画面が表示されていることを確認する

2 何も設定を変更せずに「次へ」をクリック

3 「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、「ライセンス条項に同意します」の☐をクリックして☑にして、「次へ」をクリック

4 「ユーザー名と画像の選択」と表示されたら、あらかじめ控えておいたユーザー名を正確に入力して、「次へ」をクリック

ユーザーアイコンはどの画像を選択してもかまいません。

5 「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」と表示されたら、背景を選んで「次へ」をクリック

コンピュータ名には「VALUESTAR」「LaVie」など好みの名前を入力してもかまいません。また、再セットアップする前に付けていた名前と異なるものを入力してもかまいません。

6 「Windowsを自動的に保護するよう設定してください」と表示されたら、「推奨設定を使用します」をクリック

チェック!!

- この時点では「C ドライブのみ再セットアップ」、「C ドライブの領域を変更して再セットアップ」は利用できません。
- 必ず「ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ」を選択してください。他の再セットアップ方法を選択すると、パソコンの状態によっては正常に再セットアップができません。

チェック!!

ハードディスクのフォーマットまたは再セットアップがおこなわれている間は、画面に指示が表示されない限り、ディスクを取り出したり、電源スイッチに触れたりしないでください。

チェック!!

「パソコンを再起動します」の画面が表示されなかったときは再セットアップが正常におこなわれていません。「7.システムを再セットアップする」の最初に戻り、操作をやりなおしてください。

チェック!!

パスワードは、ここでは設定しません。Windowsのセットアップ作業が終わってから設定します。

7 「ありがとうございます」と表示されたら、「開始」をクリック

しばらくすると、何度か再起動して「121ポップリンクの設定」と表示されます。

8 「121ポップリンクの設定」が表示されたら、「利用する」が◉になっていることを確認し、➡をクリック

121ポップリンクは、お使いの機種に適した最新情報をNECからインターネット経由でお届けするサービスです。

➡をクリックすると、パソコンが再起動します。再起動後、「復元ポイントを作成しています。しばらくお待ちください。」の画面が表示されます。しばらくすると、「インターネットエクスプローラホームページの設定」の設定画面が表示されます。

9 「インターネットエクスプローラホームページの設定」で、BIGLOBEホームページかYahoo!JAPANホームページのいずれかを選んで◉にし、➡をクリック

インターネットを見るときに最初に表示されるホームページを選びます。

「BIGLOBEのホームページ」を◉にすると、BIGLOBEのホームページが、「Yahoo!JAPAN ホームページ」を◉にすると、Yahoo!JAPAN のホームページが最初に表示されるようになります。この設定は、後から変更することができます。

「未成年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス制限について」画面が表示されます

10 表示された内容を確認し、➡をクリック

しばらくすると、「ウェルカムセンター」が表示されます。これでWindowsの設定は終了です。

Windows の設定が終了したら、セキュリティ対策のため、Windowsのパスワードを設定することをおすすめします。

この後の操作は、Windows XP の再セットアップと同じです。
Office 2007モデルの場合は、PART2の「9.Office Personal 2007 または Office Personal 2007 with PowerPoint 2007 を再セットアップする (Office 2007 モデルのみ)」(p.55) 以降をご覧になり、再セットアップを完了してください。
その他のモデルの場合は、「10. 別売の周辺機器 (プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす」(p.56)以降をご覧になり、再セットアップを完了してください。

●ウイルスバスターについてのご注意

Windows Vista の再セットアップディスクを使って再セットアップすると、ウイルスバスター 2009 が利用できる状態 (すでにインストールされている状態) になっています。Windows XP でウイルスバスターのご契約をしている場合は、ライセンスをそのまま引き継ぐことができます (Vista用に改めて購入は不要です)。再セットアップ前に控えたシリアル番号をウイルスバスターに登録してください。

詳しくは、ウイルスバスターのホームページをご覧ください。ウイルスバスターの問い合わせ先などは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ウイルスバスター」をご覧ください。

●ソフト、周辺機器についてのご注意

Windows XP で使用していたソフトや周辺機器を Windows Vista® Business に再セットアップしたパソコンで使用する場合には、ソフト、周辺機器がWindows Vistaに対応しているか、ソフト、機器のマニュアルや開発元のホームページで十分確認してください。
Windows Vistaに対応していないソフトやドライバなどをインストールすると、不具合が起こる場合があります。
また、ライセンス条件などを確認し、不正使用とならないようにインストールやアンインストールをしてください。

●バックアップしたデータについてのご注意

再セットアップ前にバックアップしていたデータを Windows Vista® Businessでも利用できるかどうかは、それぞれのソフトによって異なります。ソフトのマニュアルやヘルプ、ソフト開発元のホームページなどで確認してください。
Windows の標準ツールで利用できるデータについては、Windows のヘルプまたはマイクロソフトのホームページなどで確認してください。

Windows XP に戻す

Windows Vista® Businessへ再セットアップした後、再び、Windows XP に戻す場合は、あらかじめ作成しておいた Windows XP の再セットアップ用 DVD/CD-ROM を使って再セットアップしてください。
このとき、必ず再セットアップのメニューから「ハードディスクを購入時の状態に戻して再セットアップ」を選んでください。その他の再セットアップ方法を選択すると、選択した項目やハードディスクの状態によっては、正常に再セットアップができません。

●データのバックアップを取る

この方法で再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータはすべて失われます。再セットアップする前に、必要なデータをDVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどにバックアップしてください。

Windows Vistaのマニュアルについて

Windows Vista® Businessに再セットアップした場合、必要に応じてWindows Vista用のマニュアルを用意してください。

マニュアルの入手について

お使いのパソコンに対応したWindows Vista用のマニュアルは、ホームページから PDF 形式でダウンロードすることができます。
また、マニュアル冊子の販売もおこなっています。
なお、電子マニュアル「サポートナビゲーター」は、Windows Vista® Businessに再セットアップすると、自動的にWindows Vistaに対応したサポートナビゲーターがインストールされます。

●ダウンロードする場合（無料※）

電子マニュアルビューア
http://121ware.com/e-manual/m/nx/
※：インターネット接続にかかる料金については、お客様のご負担となります。

1　次のホームページにアクセスする

・VALUESTAR Gシリーズの場合
http://121ware.com/e-manual/m/nx/vs/200904/html/vl300tg.html
・LaVie Gシリーズの場合
http://121ware.com/e-manual/m/nx/lv/200904/html/ll550tg.html

マニュアルの一覧が表示されます。

2　マニュアル名を右クリックし、「対象をファイルに保存」をクリック

マニュアルのPDFを保存する画面が表示されます。画面の説明を読んで、PDFをパソコンに保存してください。

3　必要なマニュアルすべてについて手順2をおこなう

4　パソコンに保存したPDFファイルをダブルクリックして、マニュアルを見る

必要に応じて、PDFファイルを印刷してご利用ください。

チェック!!

入手できる Windows Vista 用のマニュアルは、Windows Vista® Home Premium がインストールされた店頭販売モデルを例に説明されています。そのため、このパソコンとは記載内容が異なる部分があります。詳しくは、「マニュアルとの違いについて」（p.100）をご覧ください。

チェック!!

ここで指定した機種は、Windows Vista® Businessに再セットアップしたときに必要なマニュアルが揃っている機種です。ご購入されたパソコンと同一の機能、機器構成の機種ではありません。

『活用ブック』について
『活用ブック』は、Windows Vista® Home Premium がインストールされた店頭販売モデルを例に、添付ソフトの紹介やパソコンをご使用になる上での活用提案などを記載しているマニュアルです。
このパソコンをWindows Vista® Businessにアップグレードした場合、添付ソフトや機能などが『活用ブック』記載の内容と大きく異なります。あらかじめご了承ください。また、NEC PC マニュアルセンターでマニュアルをご購入される場合は、事前に「電子マニュアルビューア」で記載内容をご確認いただくことをおすすめします。

●冊子マニュアルをご購入する場合（有料）

NEC PC マニュアルセンター
http://pcm.nec-dp.co.jp/

1 **次のホームページにアクセスする**

http://pcm.nec-dp.co.jp/
「NEC PCマニュアルセンター」のホームページが表示されます。

画面の説明を読んで、マニュアルを購入してください。このとき、機種名は次の機種名としてください。

・VALUESTAR G シリーズの場合：
「デスクトップ」-「VALUESTAR」-「2009 年 4 月 14 日発表」-「VALUESTAR L」-「VL300/TG」

・LaVie G シリーズの場合：
「ノートブック」-「LaVie」-「2009 年 4 月 14 日発表」-「LaVie L」-「LL550/TG」

『活用ブック』について
『活用ブック』は、Windows Vista® Home Premium がインストールされた店頭販売モデルを例に、添付ソフトの紹介やパソコンをご使用になる上での活用提案などを記載しているマニュアルです。
このパソコンをWindows Vista® Businessにアップグレードした場合、添付ソフトや機能などが『活用ブック』記載の内容と大きく異なります。あらかじめご了承ください。また、NEC PC マニュアルセンターでマニュアルをご購入される場合は、事前に「電子マニュアルビューア」で記載内容をご確認いただくことをおすすめします。

ここで指定した機種は、Windows Vista® Businessに再セットアップしたときに必要なマニュアルが揃っている機種です。ご購入されたパソコンと同一の機能、機器構成の機種ではありません。

マニュアルとの違いについて

ダウンロード、または購入されたWindows Vista用マニュアルの記載と、このパソコンの機能には一部異なる点があります。

●OS の違いについて

Windows Vista® Ultimate、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business、およびWindows Vista® Home Basicでは、機能に違いがあります。詳しくは、Microsoftのホームページでご確認ください。

DVD-Videoの再生には、「WinDVD for NEC」をご利用ください。Windows Vista® Business では、「Windows Media Player」に DVD 再生をおこなう機能がないため、DVD-Video をご覧になれません。

●マニュアルの画面について

画面の表示は、OS によって異なります。Windows Vista 用のマニュアルでは、Windows Vista® Home Premiumの画面を使用しているため、Widnows Vista® Business では表示が異なる場合があります。

●搭載機能について

このパソコンには、以下の機能が搭載されていません。

Windows Vista用のマニュアルには、以下の各機能に関する記載がありますが、このパソコンでは利用することはできません。

・FeliCa ポート
・Web カメラ
・HDMI コネクタ

●添付ソフトについて

マニュアルに記載されているソフトのうち、次のものは添付されません。

・Yahoo!ツールバー
・パソらく設定
・スタイルセレクター
・ラベルマイティ セレクト2 for NEC PC101NBG
・ラベルマイティ セレクト2 for NEC PC101NBGC
・100万人!のための3D麻雀
・100万人!のための金沢将棋レベル100
・100万人!のための囲碁
・大富豪 Plus 5
・脳力トレーナー
・Corel® Paint Shop Pro® Photo X2
・駅すぱあと(Windows)
・パソコンのいろは3
・パソコンのいろは3 Office 2007編
・SmartPhoto
・らくらく無線スタート® EX
・DVD-MovieAlbumSE 4.6 CPRM for NEC
・BD-MovieAlbum 1.1
・マカフィー® インターネットセキュリティ ベーシックエディション
・乗換案内 for NEC
・駅探エクスプレス
・時事通信社・医学・健康コンテンツ・家庭の医学・血液サラサラ健康事典
・デジタル全国地図 its-mo Navi
・てきぱき家計簿マム6
・FlipViewer 4.5
・i-フィルター® 5.0
・BeatJam 2009 for NEC PCOMG120NBG
・Music Store Browser for Windows Media Center
・BeatJam Player for Windows Media Center
・デ辞蔵PC

付　録

バッテリリフレッシュについて
（LaVie G シリーズの場合）

バッテリの機能を回復するバッテリリフレッシュについて説明します。
バッテリについて詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「バッテリ」をご覧ください。

バッテリは、使い続けていくうちに、フル充電してもバッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が以前よりも短くなっていきます。このようなときは、バッテリリフレッシュをおこなうことでバッテリの性能を回復できます。
バッテリリフレッシュをおこなうのは、次のようなときです。

・バッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が、以前よりも短くなったとき
・ご購入直後や長期間放置した後で、バッテリの性能が一時的に低下しているとき
・バッテリの残量表示に誤差が生じているとき。

チェック!!
バッテリリフレッシュは数時間かかります。時間に余裕のあるときにおこなってください。

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを使う

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを使って、バッテリ性能の低下を抑えるためのリフレッシュと現状の性能診断をおこなうことができます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」-「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」をクリックする**

2 **「今すぐ開始」をクリックする**

3 **「はい」をクリックする**
バッテリのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックしてください。

4 **診断結果を確認する**
「バッテリ状態」が「劣化」、「注意」と表示されたときにはバッテリを交換してください。

チェック!!
初回起動時は「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」についての説明の画面が表示されます。バッテリのリフレッシュおよび診断を開始する前に注意事項を確認してください。

チェック!!
バッテリリフレッシュおよび診断中にはACアダプタ、およびバッテリパックを取り外さないでください。

バッテリリフレッシュをおこなう

1 **パソコンの電源を切る**

2 **バッテリリフレッシュをおこないたいバッテリパックをパソコンに取り付ける**

取り付けられているバッテリをバッテリリフレッシュする場合は、そのまま手順3に進みます。バッテリの取り付け方については『セットアップマニュアル』をご覧ください。

3 **パソコンにACアダプタを接続し、電源コードをコンセントに差し込む**

バッテリ充電ランプ（）が点滅している場合は、一度ACアダプタを取り外し、バッテリパックを取り付けなおしてください。

4 **バッテリをフル充電する**

バッテリがフル充電されると、バッテリ充電ランプが消灯します。

5 **パソコンの電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を数回押す**

BIOSセットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。

6 **電源コードのプラグをコンセントから抜き、ACアダプタをパソコンから取り外す**

7 **【→】を押して「終了」を選び、【↓】を押して「バッテリリフレッシュ」を選んでから【Enter】を押す**

バッテリリフレッシュが始まります。

8 **「実行しますか？」と表示されたら、「はい」を選択し【Enter】を押す**

バッテリリフレッシュが始まります。

バッテリリフレッシュが完了すると、自動的にパソコンの電源が切れます。電源が切れたら、ACアダプタと電源コードを接続してバッテリをフル充電してください。

チェック!!
BIOS セットアップユーティリティが表示されないときは、電源を入れなおして、【F2】を押す間隔を変えてください。

チェック!!
バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。また、バッテリリフレッシュ中はACアダプタを接続しないでください。

バッテリリフレッシュを中断する

バッテリリフレッシュ中に電源スイッチを押すと、バッテリリフレッシュが中止されて、パソコンの電源が切れます。

バッテリリフレッシュ中に【Esc】を押すと、バッテリリフレッシュが中止されて、BIOS セットアップメニューの画面に戻ります。

チェック!!
バッテリリフレッシュ中にACアダプタを接続すると、メッセージが表示されて、バッテリリフレッシュが中断されます。ACアダプタを取り外すと、バッテリリフレッシュが続行します。

DVD/CDドライブからディスクが取り出せなくなったときは

DVD/CDドライブからディスクが取り出せなくなったときの取り出し方を説明します。

パソコンの電源が入っていないと、DVD/CD ドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。
パソコンの電源が入っているにもかかわらず、ディスクトレイが出てこなくなった場合は、ソフトの異常な操作などでディスクが取り出せなくなっていることが考えられます。次の操作でディスクを取り出してください。

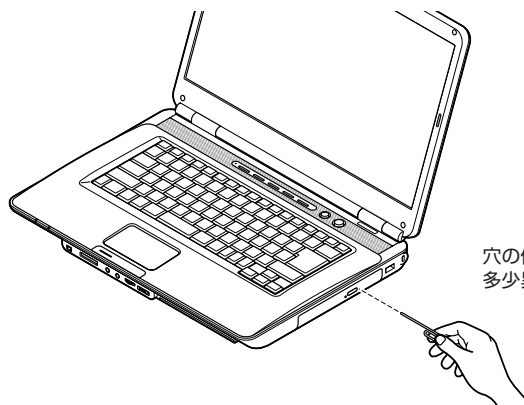
注意

ペーパークリップを使うときは、ペーパークリップのとがった部分で指を切ったりしないように、注意して作業してください。

1 **太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意する**

大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

2 **非常時ディスク取り出し穴に、手順1で作った針金を差し込み、強く押し込む**

・LaVie Gシリーズの例

ディスクトレイが少し飛び出します。

3 **ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す**

チェック!!

- この方法でディスクを取り出す前に、PART3の「その他」-「DVD/CD ドライブからディスクを取り出せなくなった」をご覧になり、ディスクが取り出せないか試してください。
- この方法でディスクを取り出すときは、ディスクにアクセスしていない(CD/ハードディスクアクセスランプが点灯、点滅していない)ことを確認してください。アクセス中に取り出そうとすると、データが失われたり、ディスクが使えなくなる場合があります。

パソコンのお手入れ

パソコンは精密機械なので、日頃のお手入れが欠かせません。マウスやキーボードも、こまめに清掃することで長く快適に使用できます。

準備するもの

軽い汚れのとき	汚れがひどいとき
乾いたきれいな布を用意します	水かぬるま湯を含ませて、よくしぼった布を用意します

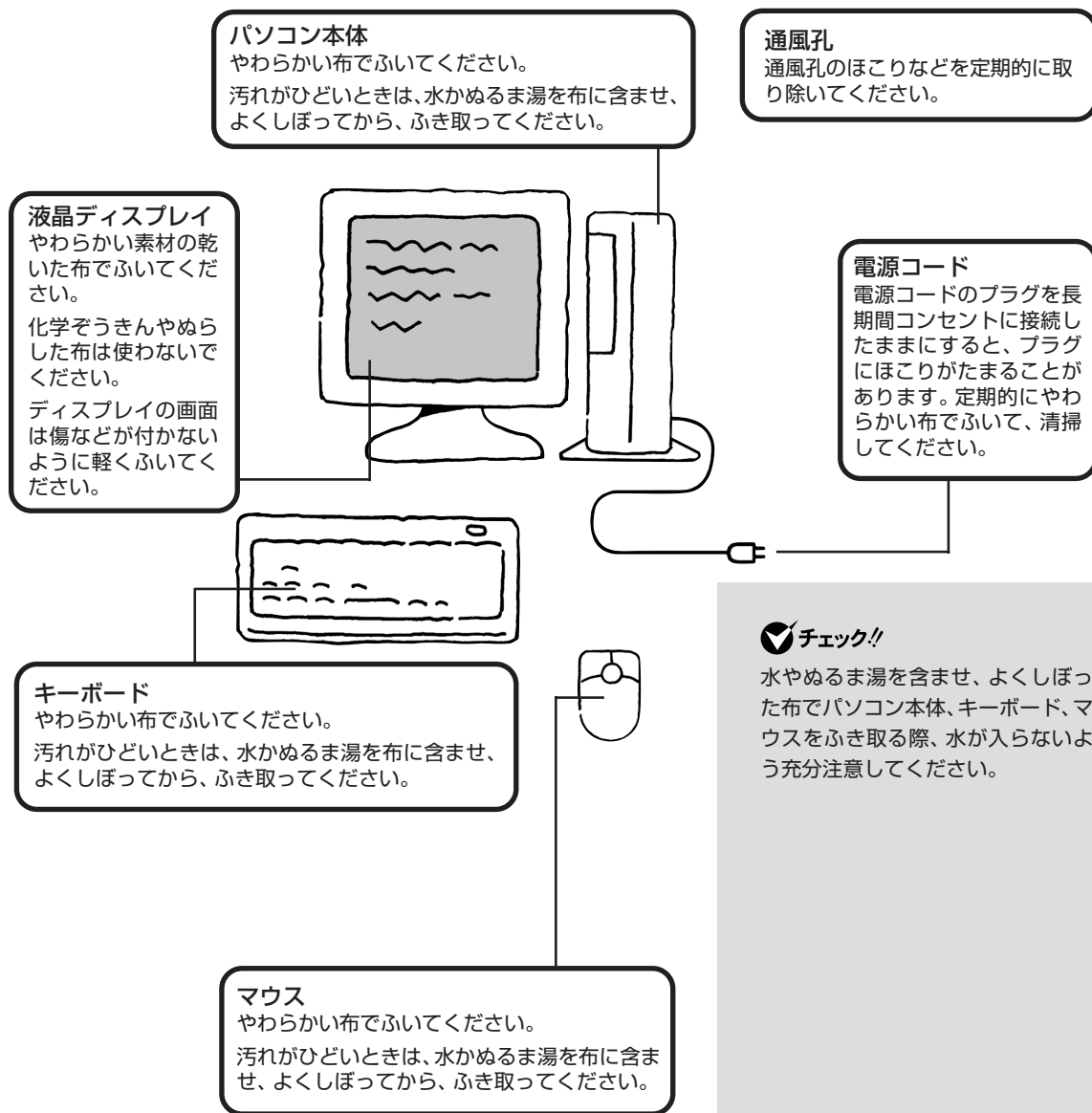
電源を切って、電源コードを外す

お手入れの前には、必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切ってください。電源コードはコンセントから抜いてください。LaVie G シリーズの場合は、バッテリパックも取り外してください。
電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

チェック!!

・水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や揮発性の有機溶剤を含む化学ぞうきんは、使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。

パソコン各部の清掃のしかた（VALUESTAR Gシリーズの場合）

清掃する

※ イラストはイメージ図です。

チェック!!

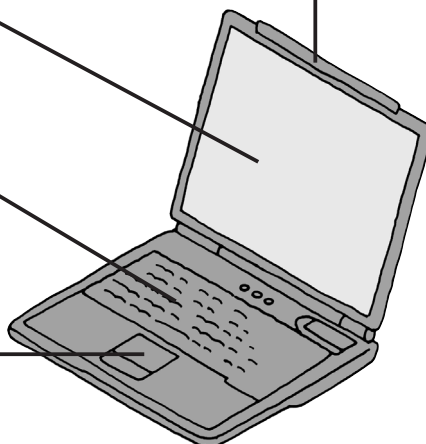
水やぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でパソコン本体、キーボード、マウスをふき取る際、水が入らないよう充分注意してください。

パソコン各部の清掃のしかた（LaVie G シリーズの場合）

液晶ディスプレイ
やわらかい素材の乾いた布でふいてください。
化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。
ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。

パソコン本体
やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

キーボード
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

NXパッド
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

通風孔
通風孔のほこりなどを定期的に取り除いてください。

電源コード／ACアダプタ
電源コードのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがあります。
定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

マウス（添付モデルのみ）
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

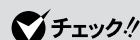
※イラストはイメージ図です。

チェック!!
水やぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でパソコン本体、キーボード、マウスをふき取る際、水が入らないよう充分注意してください。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NEC 121コンタクトセンターへお問い合わせください。詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。

チェック!!

NEC 121コンタクトセンターなどにこのパソコンの修理を依頼される場合は、設定したパスワードは解除しておいてください。

VALUESTAR Gシリーズ、LaVie Gシリーズに関するお問い合わせ

VALUESTAR Gシリーズ、LaVie Gシリーズのご購入などに関するお問い合わせは、下記コールセンターまでお問い合わせください。

●NEC Direct(NECダイレクト)コールセンター

電話(フリーコール):0120-944-500
※携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
Tel:03-6670-6670(東京)(通話料お客様負担)
受付時間:9:00 ~ 18:00
(ゴールデンウィーク・年末年始、およびNEC Direct指定休日を除く)

VALUESTAR Gシリーズ、LaVie Gシリーズの修理のご相談などについては、下記NEC 121コンタクトセンターまでお問い合わせください。

●NEC 121(ワントゥワン)コンタクトセンター

電話(フリーコール):0120-977-121
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。
※携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
Tel : 03-6670-6000(東京)(通話料お客様負担)
受付内容
購入相談・回収リサイクル受付
修理受付・NEC パソコン情報FAX サービス

サービス内容等は予告なく変更させていただく場合がございます。
NEC 121コンタクトセンターの詳しい情報は、http://121ware.com/121cc/ をご覧ください。

※システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。

消耗品 / 有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

消耗品と有寿命部品は次のとおりです。

種類	内容説明	該当品または部品(代表例)
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。 本体の保証期間内であっても有償となります。	フロッピーディスク、 CD-ROMディスク、 DVD-ROMディスク、 SDメモリーカード、 メモリースティック、 バッテリ、乾電池など
有寿命部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。 本体の保証期間内であっても部品代は有償となる場合があります。詳しくは、NEC 121コンタクトセンターの修理受付窓口にご相談ください。	ディスプレイ、 ハードディスクドライブ、 DVD/CDドライブ、 キーボード、 マウス、 ファン

・記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくは「仕様一覧」をご覧ください。
・有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
　また、長時間連続使用等のご使用状態や、温湿度条件等のご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。
・本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、PC本体、オプション製品については製造打切後6年です。

パソコンの売却、処分、改造について

このパソコンを売却するには

ご使用済みパソコンの買い取りサービスをおこなっております。
買い取り対象機種や上限価格は、随時変更されます。サービス内容の詳細や最新情報については、http://121ware.com/support/recyclesel/ をご覧ください。

このパソコンを譲渡するには

●譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後、譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。

   ※第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイページ(http://121ware.com/my/)の保有商品情報で削除いただくか、またはEメールアドレスwebmaster@121ware.com宛にご連絡ください。

チェック!!

パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。このパソコンのハードディスクのデータを消去する方法については、PART2の「パソコン内のデータを消去する」(p.65)をご覧ください。

●譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」での登録をお願いします。

http://121ware.com/my/　にアクセス

●はじめて登録するかた

「新規取得」をクリックして登録

●以前ハガキ、オンライン、FAXなどで登録されたかた

「インターネット以外の方法でご登録済みの方はこちら」をクリックして登録

●すでにログインIDをお持ちのかた

「ログイン」をクリックして、ログイン後、保有商品情報の「新規・追加登録」で登録

インターネットに接続できないかたは、お客様登録に必要な次の事項を記入し、郵送してください。

記載内容

1. 本体型番、型名のいずれかと保証書番号
   (本体背面/側面または保証書に記載の型番/型名のいずれかと製造番号)
2. 氏名、住所、電話番号、Eメールアドレス、中古購入された場合はそのご購入先、ご購入日
3. 121ware お客様登録番号
   (以前登録されてすでに「121wareお客様登録番号」をお持ちのかたは、記入をお願いします。)

宛先

〒143-8691 郵便事業株式会社 大森支店 私書箱５号
NEC121ware 登録センター係

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。
PCリサイクルマークが銘板（パソコン本体の側面または背面に型番や製造番号が記載されているラベル）に表示されている、または、PC リサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は弊社が責任をもって回収・再資源化いたします。希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください。

当該製品をご家庭から排出する際、弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力頂ける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。

廃棄時の詳細については、NEC パーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」（URL：http://121ware.com/support/recyclesel/）をご覧になり、NEC 121 コンタクトセンターにご相談ください。

当該製品が事業者から排出される場合（産業廃棄物として廃棄される場合）当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。
廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。
（URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/it/）

本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

ハードディスク、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のホームページをご覧ください。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/release/020411.html
パソコンのハードディスクやメモリーカードには、お客様が作成、使用した重要なデータが記録されています。このパソコンを譲渡または廃棄するときに、これらの重要なデータ内容を消去することが必要となります。
「データやファイルの消去」、「ハードディスクの初期化（フォーマット）」、「メモリーカードの初期化（フォーマット）」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。
このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際に、ハードディスクおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において完全に消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊（メモリーカードの場合は、金槌による物理的破壊のみ）して、読めなくすることを推奨します。

また、ハードディスクやメモリーカード上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

パソコンの再セットアップでデータが消去されるのは、このパソコンに内蔵されたハードディスクのみです。

パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。
記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

仕様一覧

VALUESTAR G タイプ L (e)

フレーム型番				PC-GV2817Z2E	PC-GV20G7Z2E	PC-GV20C7Z2E
ベースOS				Windows Vista® Business with Service Pack 1 (SP1) 正規版※1		
インストールOS				Windows® XP Professional Service Pack 3 (SP3) 正規版※1をインストール※2		
サポートOS※4				Windows® XP Professional Service Pack 3 (SP3) 正規版※1、 Windows Vista® Business with Service Pack 1 (SP1) 正規版※1※3		
CPU				インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー E7400(2.80GHz)	インテル® Celeron® プロセッサー E1400(2GHz)	インテル® Celeron® プロセッサー 440(2GHz)
	2次キャッシュメモリ			3MB	512KB	
バスクロック	システムバス			1066MHz	800MHz	
	メモリバス			1066MHz	800MHz	
チップセット				インテル® G43 Express チップセット		
メインメモリ ※5※6※7	標準容量/最大容量			セレクションメニューにて選択可能/4GB※8		
	スロット数			DIMMスロット×2[空き:0]		
表示機能	ディスプレイ[型番]			セレクションメニューにて選択可能		
	表示色 (解像度) ※11	本体添付ディスプレイ		セレクションメニューのディスプレイの選択により異なります		
		本機の サポート する表示 モード※14	デジタル ディスプレイ※40	最大1677万色(1920×1080ドット、1680×1050ドット、1600×1200ドット、1440×900ドット、1280×1024ドット、1024×768ドット、800×600ドット)		
			アナログ ディスプレイ	最大1677万色(1680×1050ドット、1600×1200ドット、1440×900ドット、1280×1024ドット、1024×768ドット、800×600ドット)		
	グラフィックアクセラレータ			インテル® GMA X4500(インテル® G43 Express チップセットに内蔵)		
	グラフィックスメモリ※7※15			Windows® XP Professional SP3でご利用になる場合(出荷時状態) ・最大256MB Windows Vista® Business with SP1をインストールしてご利用になる場合※3 ・メインメモリが2GBの場合:最大782MB ・メインメモリが4GBの場合※8:最大1422MB		
ドライブ	ハードディスクドライブ※16			セレクションメニューにて選択可能		
	DVD/CDドライブ (詳細は別表(p.119)をご覧ください)			DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)[DVD-R/+R 2層書込み]※43		
サウンド機能	スピーカ			セレクションメニューのディスプレイの選択により異なります		
	音源/サラウンド機能			インテル® High Definition Audio準拠(最大192kHz/24ビット※17、ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能)、マイク機能(ノイズ抑制、音響エコーキャンセル、ビームフォーミング)		
	サウンドチップ			RealTek社製 ALC262搭載		
通信機能	LAN			1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応		
拡張スロット				PCI Express x16スロット※18(ロープロファイル)×1[空き:0] PCI Express x1スロット(ロープロファイル)×1[空き:1] PCIスロット(ロープロファイル)×2[空き:2]		
ベイ				5型ベイ:1スロット(DVD/CDドライブで占有済)[空き:0] 内蔵3.5型ベイ:1スロット(ハードディスクドライブで占有済)[空き:0]		
入力装置	キーボード			PS/2小型キーボード(109キーレイアウト準拠、ワンタッチスタートボタン、ECOボタン付き)		
	マウス			光センサーUSBマウス(横スクロール機能付き※19)		
外部インターフェイス	USB※20			4ピン×8[USB 2.0]		
	ディスプレイ			DVI-D(24ピン、HDCP対応※21)×1※22、ミニD-sub15ピン×1		
	PS/2			ミニDIN6ピン×1※23		
	LAN			RJ45×1		
	サウンド関連	マイク入力 ※25		ステレオミニジャック×1(マイク入力インピーダンス 64kΩ、入力レベル 100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧 2.5V)		
		ヘッドフォン出力		ライン出力と共用(ヘッドフォン出力インピーダンス 16~100Ω「推奨32Ω」※26)		
		ライン入力		ステレオミニジャック×1(入力インピーダンス 64kΩ、入力レベル 1Vrms)		
		ライン出力		ステレオミニジャック×1※24(出力インピーダンス 22kΩ、出力レベル 1Vrms)		
	カードスロット	メモリーカード		セレクションメニューにて選択可能		
外形寸法	本体(突起部除く)			98(W)×401(D)×343(H)mm※35 220(W)×401(D)×343(H)mm(スタビライザ設置時)		
	キーボード			396(W)×172(D)×33(H)mm		

フレーム型番		PC-GV2817Z2E	PC-GV20G7Z2E	PC-GV20C7Z2E
質量	本体※41	約9.1kg		
	キーボード／マウス	約800g／約93g		
電源		AC100V±10%、50/60Hz		
消費電力 ※36※41	標準／最大／ スリープ状態時	約55W／約188W／約3W	約56W／約189W／約3W	約56W／約176W／約3W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率※37		j区分 0.00063(AAA)	j区分 0.00090(AAA)	j区分 0.0017(AA)
電波障害対策		VCCI ClassB		
温湿度条件		10〜35℃、20〜80%(ただし結露しないこと)		
ソフトウェアパック		ミニマムソフトウェアパック		
主な添付品		マニュアル、電源コード、再セットアップディスク※39		

■セレクションメニュー（以下の各項目から 1 つ選択することで、仕様が異なります）

フレーム型番			PC-GV2817Z2E	PC-GV20G7Z2E	PC-GV20C7Z2E
ベースOS			Windows Vista® Business with Service Pack 1（SP1）正規版※1		
インストールOS			Windows® XP Professional Service Pack 3 正規版※1をインストール※2		
メインメモリ ※5※6※7	標準		いずれか選択可能 ・2GB(DDR3 SDRAM/DIMM 1GB×2、PC3-8500対応、デュアルチャネル対応)※9※10 ・4GB※8(DDR3 SDRAM/DIMM 2GB×2、PC3-8500対応、デュアルチャネル対応)	いずれか選択可能 ・2GB(DDR3 SDRAM/DIMM 1GB×2、PC3-6400対応※42、デュアルチャネル対応)※9※10 ・4GB※8(DDR3 SDRAM/DIMM 2GB×2、PC3-6400対応※42、デュアルチャネル対応)	
	スロット数		DIMMスロット×2[空き：0]		
	最大容量		4GB※8		
表示機能	ディスプレイ[型番] (詳細は別表(p.120)をご覧ください)		いずれか選択可能 ・無し※40 ・19型ワイド(スーパーシャインビューEX液晶)[F19W1A(S)]		
	表示色 (解像度) ※11	本体添付 ディスプレイ	19型ワイド(スーパーシャインビューEX液晶)[F19W1A(S)]の場合 ・最大約1670万色※12(1440×900ドット、1024×768ドット※13、800×600ドット※13)		
ドライブ	ハードディスク ドライブ※16 (詳細は別表(p.119)をご覧ください)		いずれか選択可能 ・約320GB(Serial ATA、高速7200回転/分) ・約500GB(Serial ATA、高速7200回転/分) ・約1TB(Serial ATA、高速7200回転/分)		
カードスロット	メモリーカード		いずれか選択可能 ・無し ・7メディア対応カードスロット×1※27[SDメモリーカード(SDHCメモリーカード)※28※29、メモリースティック(メモリースティック PRO、メモリースティック PRO-HG デュオ)※30、xD-ピクチャーカード※31、スマートメディア※32、コンパクトフラッシュ、マルチメディアカード※33、マイクロドライブ※34]		
スピーカ			ディスプレイ選択の場合 ・液晶ディスプレイに内蔵(ステレオ(1W+1W))		
主なソフトウェア			いずれか選択可能 ・無し ・Microsoft® Office Personal 2007※38 ・Microsoft® Office Personal 2007 with Microsoft® Office PowerPoint® 2007※38		

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※　1：32ビット版、日本語版です。添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用できます。別売のOSをインストールおよびご利用することはできません。

※　2：Windows Vista® Business with Service Pack 1（SP1）正規版プリインストールモデルに付帯するOSのダウングレード権を利用し、Windows® XP Professional Service Pack 3 正規版をインストールして出荷するサービスです。なお、インストールされるOS(インストールOS)はWindows® XP Professional SP3となりますが、お客様がライセンスを取得されるOS(ベースOS)はWindows Vista® Business with SP1となります。

※　3：別途ライセンスをご購入することなく、本体添付の「再セットアップディスク」を利用してWindows Vista® Business with SP1をご使用いただくことが可能です。

※　4：2つのOSを切り換えて使用することはできません。

※　5：増設メモリは、PC-AC-ME041C(2GB、PC3-8500)を推奨します。

※　6：他社製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。

※　7：グラフィックスメモリは、メインメモリを使用します。

※　8：最大4GBのメモリを搭載可能ですが、PCIデバイスなどのメモリ領域を確保するために、すべての領域を使用することはできません。なお、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。
※　9：最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ(2GB)を2枚実装する必要があります。
※ 10：2つのメモリスロットに異なる容量のメモリを搭載するメモリ構成はサポートしておりません。
※ 11：本体添付ディスプレイ(選択時)の最大解像度より小さい解像度を選択した場合、拡大表示機能によって文字や線などの太さが不均一になることがあります。
※ 12：本体添付ディスプレイ(選択時)のフレームレートコントロールにより実現。
※ 13：最高解像度以外の解像度ではアスペクト比(画面縦横比)を保つために画面の左右または上下左右が黒表示となる場合があります。擬似的に画素を拡大して表示しているため文字などの線がぼやけて表示される場合があります。
※ 14：グラフィックアクセラレータのサポートする表示モードです。実際に表示できるモードは接続するディスプレイにより異なります。なお、1920×1080ドットと1680×1050ドットと1440×900ドットの解像度については商品ご購入時に選択できるディスプレイでのみ動作検証を行っております。
※ 15：パソコンの動作状況により、使用可能なメモリ容量、グラフィックスメモリ容量が変化します。また本機のハードウェア構成、ソフトウェア構成、BIOSおよびディスプレイドライバの更新によりグラフィックスメモリの最大値が変わる場合があります。搭載するメインメモリの容量によって利用可能なグラフィックスメモリの最大値は異なります。利用可能なグラフィックスメモリの最大値とは、OS上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。
※ 16：1GBを10億バイト、1TBを1兆バイトで計算した場合の数値です。
※ 17：量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
※ 18：抜け防止ロック機構付き。
※ 19：使用するソフトウェアによって動作が異なったり、使用できないことがあります。
※ 20：USBポートの電源供給能力は、1ポートあたり動作時は最大500mA、スリープ時は数十mA程度です。これ以上の電流を消費するバスパワードのUSB機器は電源の寿命を低下させるおそれがありますので接続しないでください。
※ 21：HDCPとは"High-bandwidth Digital Content Protection"の略称で、DVIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。本製品のDVIは、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているパーソナルコンピュータからのデジタルコンテンツを表示することができます。ただし、HDCPの規格変更などが行われた場合、本製品が故障していなくても、DVIの映像が表示されないことがあります。
※ 22：本機のDVI端子はご購入時に選択できるディスプレイのみ動作確認を行っております。
※ 23：本機のPS/2端子は添付のキーボードのみ動作確認を行っております。
※ 24：ディスプレイ(選択時)に添付のオーディオケーブルを接続します。
※ 25：パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。
※ 26：周波数特性や、出力電力を保証するものではありません。
※ 27：すべてのメモリーカード、メモリーカード対応機器との動作を保証するものではありません。
※ 28：著作権保護機能には対応しておりません。
※ 29：「SDIOカード」には対応しておりません。「miniSDカード」、「microSDカード」をご使用の場合には、SDカード変換アダプタをご利用ください。microSDカード→miniSDカード変換アダプタ→SDカード変換アダプタの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「miniSDカード」、「microSDカード」の取扱説明書をご覧ください。
※ 30：「メモリースティック デュオ」をご使用の場合には、「メモリースティック デュオ」アダプターをご利用ください。「メモリースティック マイクロ」(M2)をご使用の場合には、「メモリースティック マイクロ」(M2)スタンダードサイズアダプターをご利用ください。「メモリースティック マイクロ」(M2)→「メモリースティック マイクロ」(M2)デュオサイズアダプター→「メモリースティック デュオ」アダプターの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「メモリースティック デュオ」、「メモリースティック マイクロ」(M2)の取扱説明書をご覧ください。本機は4ビットパラレルデータ転送に対応しております。ただし、お使いのメモリーカードによっては読出し／書込みにかかる時間は異なります。「メモリースティック PRO-HG デュオ」の8ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。著作権保護機能(マジックゲート)には対応しておりません。
※ 31：xD-ピクチャーカードの著作権保護機能には対応しておりません。
※ 32：3.3Vタイプ(または3Vと表示されているタイプ)のみ使用できます。5Vタイプのカードはご使用できません。
※ 33：Keitaide-Music機能(UDAC-MBプロトコル)には対応しておりませんので、著作権保護機能のある音楽データは取り扱いできません。
※ 34：ほかのメディアと同時に使用することはできません。
※ 35：本機を横置きにしてのご使用はサポートしておりません。
※ 36：Windows Vista® Business with SP1インストール時は数値が異なります。
※ 37：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。2007年度基準で表示しております。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
※ 38：Microsoft® Office 2007 Service Pack 2をインストール済み。本製品はマニュアルを添付しております。
※ 39：Windows Vista® Business with SP1環境を再セットアップします。
※ 40：著作権保護コンテンツ(CPRM録画されたDVDのコンテンツなど)を再生するには、HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)に対応したディスプレイを使用してください。
※ 41：Windows® XP Professional SP3 正規版、メモリ4GB(2GB×2)、DVDスーパーマルチドライブ、ハードディスク約1TB(高速7200回転/分)の構成にて測定。
※ 42：本体に搭載しているメモリはPC3-8500ですが、本体のメモリバスの仕様上PC3-6400(800MHz)で動作します。
※ 43：Windows® XP Professional SP3正規版の環境(出荷時状態)では、標準搭載しているDVD再生ソフトウェア「InterVideo® WinDVD® for NEC」が、CPRMに対応していませんので、ご注意ください。
本体添付の「再セットアップディスク」を利用しWindows Vista® Business with SP1をインストールしてご利用になる場合は、標準搭載しているDVD再生ソフトウェア「InterVideo® WinDVD® for NEC」は、CPRM版にアップデートしてお使いいただくことができます。

■DVD/CD ドライブ仕様一覧

ドライブ※1		DVDスーパーマルチドライブ (DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW) (バッファアンダーランエラー防止機能付き) [DVD-R/+R 2層書込み]※2
読出し	CD-ROM※3	最大40倍速
	CD-R	最大40倍速
	CD-RW	最大40倍速
	DVD-ROM	最大16倍速
	DVD-R	最大10倍速
	DVD+R	最大10倍速
	DVD-RW	最大8倍速
	DVD+RW	最大8倍速
	DVD-RAM※9	最大12倍速
	DVD-R (2層)※6	最大8倍速
	DVD+R (2層)	最大8倍速
書込み/書換え	CD-R	最大40倍速
	CD-RW※4	最大10倍速
	DVD-R※5	最大16倍速
	DVD+R	最大16倍速
	DVD-RW※8	最大6倍速
	DVD+RW	最大8倍速
	DVD-RAM※9	最大12倍速※10
	DVD-R (2層)※7	最大8倍速
	DVD+R (2層)	最大8倍速

※　1：使用するディスクによっては、一部の書込み／読出し速度に対応していない場合があります。
※　2：8cmディスクはご使用になれません。
※　3：Super Audio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読出し可能です。
※　4：Ultra Speed CD-RWディスクはご使用になれません。
※　5：DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。
※　6：追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読出しはサポートしておりません。
※　7：DVD-R(2層)書込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したディスクの書込みに対応しています。ただし、追記は未対応です。
※　8：DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書換えに対応しています。
※　9：DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。また、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出してご利用ください。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の読出し/書換えはサポートしておりません。
※ 10：DVD-RAM12倍速書込みには、DVD-RAM12倍速書込み対応したDVD-RAMディスクが必要です。

■ハードディスクドライブの仕様一覧

ハードディスクドライブ	ハードディスクドライブ: セレクションメニュー※1			約1TB(1000GB) (Serial ATA、高速7200回転/分)	約500GB (Serial ATA、高速7200回転/分)	約320GB (Serial ATA、高速7200回転/分)
	Windows®システムから認識される容量※2	Cドライブ/空き容量	ミニマムソフトウェアパックの場合※3	約83GB／約70GB		
		Dドライブ/空き容量	ミニマムソフトウェアパックの場合※3	約841GB／約841GB	約376GB／約376GB	約208GB／約208GB

※　1：1GBを10億バイト、1TBを1兆バイトで計算した場合の数値です。
※　2：右記以外の容量は再セットアップ用領域として占有されます。
※　3：Windows® XP Professional Service Pack 3 正規版 、ミニマムソフトウェアパック、Microsoft® Office Personal 2007(SP2)及びMicrosoft® Office PowerPoint® 2007(SP2)の構成にて測定。

■ディスプレイ仕様一覧

ディスプレイ型番		F19W1A(S)
画面サイズ		19型ワイド(スーパーシャインビューEX液晶)
表示寸法(アクティブ表示エリア)		408(W)×255(H)mm
画素ピッチ		0.284mm
表示色		最大約1670万色
表示解像度	デジタル(DVI-D)接続時およびアナログ(D-Sub)接続時	1440×900ドット、1024×768ドット※1、800×600ドット※1、640×480ドット※1
インターフェイス		DVI-D(HDCP対応※2)、ミニD-sub15ピン、ヘッドフォン出力×1、ステレオライン入力×1
消費電力		約42W
外形寸法		440(W)×210(D)×361(H)mm
質量		約4.9kg
LCDドット抜けの割合※3		0.00018%以下
備考		ステレオスピーカ(1W+1W)

※　1：最高解像度以外の解像度ではアスペクト比(画面縦横比)を保つために画面の左右または上下左右が黒表示となる場合があります。擬似的に画素を拡大して表示しているため文字などの線がぼやけて表示される場合があります。

※　2：HDCPとは"High-bandwidth Digital Content Protection"の略称で、DVIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCPの規格は、Digital Content Protection LLCという団体によって、策定・管理されています。本製品のDVIは、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているパーソナルコンピュータからのデジタルコンテンツを表示することができます。ただし、HDCPの規格変更等が行われた場合、本製品が故障していなくても、DVIの映像が表示されないことがあります。

※　3：ISO13406-2の基準にしたがって、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。

■LAN仕様一覧

項　目	規　格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時:1000Mbps 100BASE-TX使用時:100Mbps 10BASE-T使用時:10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時:UTPカテゴリ5e以上 100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時:UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T:最大約200m/ステーション間 100BASE-TX:最大約200m/ステーション間 10BASE-T:最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

※:リピータの台数など、条件によって異なります。

LaVie G タイプL（s）

フレーム型番			PC-GL26E692E PC-GL26E612E	PC-GL24E692E PC-GL24E612E	PC-GL16G692E PC-GL16G612E
ベースOS			Windows Vista® Business with Service Pack 1（SP1）正規版※1		
インストールOS			Windows® XP Professional Service Pack 3（SP3）正規版※1をインストール※2		
サポートOS※4			Windows® XP Professional Service Pack 3（SP3）正規版※1、 Windows Vista® Business with Service Pack 1（SP1）正規版※1※3		
CPU			インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T9550（2.66GHz） （拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー搭載※5）	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー P8600（2.40GHz） （拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー搭載※5）	インテル® Celeron® プロセッサー T1600（1.66GHz）
	2次キャッシュメモリ		6MB	3MB	1MB
バスクロック	システムバス		1066MHz		667MHz
	メモリバス		1066MHz		667MHz
チップセット			モバイル インテル® GM45 Express チップセット		
メインメモリ ※6※7※8	標準容量／最大容量		セレクションメニューにて選択可能／4GB※9		
	スロット数		2スロット[空き：0]		
表示機能	内蔵ディスプレイ		・フレーム型番（PC-GL□□□□■□□）の■が9の場合 16型ワイド 高輝度・高色純度・低反射TFTカラー液晶（スーパーシャインビューEX液晶）（広視野角） [Full HD（最大1920×1080ドット表示）] ・フレーム型番（PC-GL□□□□■□□）の■が1の場合 15.6型ワイド 高輝度・高色純度・低反射TFTカラー液晶（スーパーシャインビューEX液晶） [WXGA（最大1366×768ドット表示）]		
		LCDドット抜けの割合※12	・フレーム型番（PC-GL□□□□■□□）の■が9の場合 0.00012%以下 ・フレーム型番（PC-GL□□□□■□□）の■が1の場合 0.00026%以下		
	表示色（解像度）※13	内蔵ディスプレイ	・フレーム型番（PC-GL□□□□■□□）の■が9の場合 Windows® XP Professional SP3でご利用になる場合（出荷時状態） ・最大1677万色※14（1920×1080ドット、1600×1200ドット※45、1280×1024ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット） Windows Vista® Business with SP1をインストールしてご利用になる場合※3 ・最大1677万色※14（1920×1080ドット、1280×1024ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット） ・フレーム型番（PC-GL□□□□■□□）の■が1の場合 Windows® XP Professional SP3でご利用になる場合（出荷時状態） ・最大1677万色※14（1600×1200ドット※45、1366×768ドット、1280×1024ドット※45、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット） Windows Vista® Business with SP1をインストールしてご利用になる場合※3 ・最大1677万色※14（1366×768ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット		
		別売の外付けディスプレイ接続時（アナログRGB接続時）※16	最大1677万色（1680×1050ドット、1600×1200ドット、1440×900ドット、1280×1024ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット）		
	グラフィックアクセラレータ		モバイル インテル® GMA 4500MHD（モバイル インテル® GM45 Express チップセットに内蔵）		
	グラフィックスメモリ ※8※17		Windows® XP Professional SP3でご利用になる場合（出荷時状態） ・最大256MB Windows Vista® Business with SP1をインストールしてご利用になる場合※3 ・メインメモリが2GBの場合：最大780MB ・メインメモリが4GBの場合※9：最大1278MB		
ドライブ	ハードディスクドライブ※18		セレクションメニューにて選択可能		
	DVD/CDドライブ （詳細は別表（p.125）をご覧ください）		DVDスーパーマルチドライブ（DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW）[DVD-R/+R 2層書込み]※15		
サウンド機能	スピーカ		内蔵ステレオスピーカ（2W+2W）		
	音源／サラウンド機能		インテル® High Definition Audio準拠（最大192kHz/24ビット※19、ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能）、マイク機能（ノイズ抑制、音響エコーキャンセル、ビームフォーミング）		
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC269搭載		
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応		
	ワイヤレスLAN		セレクションメニューにて選択可能		

フレーム型番			PC-GL26E692E PC-GL26E612E	PC-GL24E692E PC-GL24E612E	PC-GL16G692E PC-GL16G612E
入力装置	キーボード		本体一体型(キーピッチ19mm※21、キーストローク3.0mm)、JIS標準配列(87キー)、右コントロールキー付き		
	マウス		セレクションメニューにて選択可能		
	ポインティングデバイス		Windows® XP Professional SP3でご利用になる場合(出荷時状態) ・ジェスチャー機能付きNXパッド標準装備※22 Windows Vista® Business with SP1をインストールしてご利用になる場合※3 ・手書き入力※44/ジェスチャー機能付きNXパッド(テンキー機能付き)標準装備※22		
	ボタン		ワンタッチスタートボタン、マイ チョイスボタン、ECOボタン、ズームボタン搭載		
外部インターフェイス	USB		4ピン×4[USB 2.0](パソコン本体左側面の端子にパワーオフUSB充電機能付き※23※24)		
	eSATA※25		USBと共有×1		
	IEEE1394		4ピン×1		
	ディスプレイ		ミニD-sub15ピン×1		
	LAN		RJ45×1		
	サウンド関連	マイク入力※26	ステレオミニジャック×1(マイク入力インピーダンス 32kΩ、入力レベル 100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧 2.5V)		
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1(ヘッドフォン出力インピーダンス 16～100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)		
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用(ライン出力レベル 1Vrms)		
	カードスロット	メモリーカード	トリプルメモリースロット×1※27[SDメモリーカード(SDHCメモリーカード)※28※29、メモリースティック(メモリースティック PRO、メモリースティック PRO-HG デュオ)※30、xD-ピクチャーカード※31]		
		PCカード	ExpressCard/54(ExpressCard/34対応)×1(ExpressCard™ Standard Release 1.2準拠)		
外形寸法	本体(突起部除く)		378(W)×266.8(D)×40.5(H)mm		
	バッテリ(突起部除く)		約212.7(W)×57.8(D)×20.2(H)mm		
	ACアダプタ		約133.5(W)×59.5(D)×31.6(H)mm		
質量	本体※43(標準バッテリパック含む)(リチウムイオン／ニッケル水素)		約3.0kg／約3.1kg		
	マウス		約80g		
	バッテリ(リチウムイオン／ニッケル水素)		約330g／約410g		
	ACアダプタ※32		約400g		
バッテリ駆動時間※33※34※36	標準		セレクションバッテリの種類で異なります		
	最大※35※43(オプションバッテリ)		・フレーム型番(PC-GL□□□□■□□)の■が9の場合 約2.1時間 ・フレーム型番(PC-GL□□□□■□□)の■が1の場合 約2.7時間		PC-GL16G692Eの場合 約1.7時間 PC-GL16G612Eの場合 約2.5時間
バッテリ充電時間(電源ON時／OFF時)※33※36	標準		セレクションバッテリの種類で異なります		
	最大※35※43(オプションバッテリ)		約2.8時間／約2.8時間		
電源※37※38			ACアダプタ(AC100～240V±10%、50/60Hz)またはバッテリ(セレクション)		
消費電力※36	標準※43／最大		・フレーム型番(PC-GL□□□□■□□)の■が9の場合 約25W／約90W ・フレーム型番(PC-GL□□□□■□□)の■が1の場合 約17W／約90W		PC-GL16G692Eの場合 約29W／約90W PC-GL16G612Eの場合 約20W／約90W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率※40			PC-GL26E692Eの場合 I区分 0.00024(AAA) PC-GL26E612Eの場合 I区分 0.00017(AAA)	PC-GL24E692Eの場合 I区分 0.00026(AAA) PC-GL24E612Eの場合 I区分 0.00019(AAA)	PC-GL16G692Eの場合 I区分 0.00047(AAA) PC-GL16G612Eの場合 I区分 0.00035(AAA)
電波障害対策			VCCI ClassB		
温湿度条件			5～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)		
本体色			セレクションメニューにて選択可能		
ソフトウェアパック			ミニマムソフトウェアパック		
主な添付品			ACアダプタ、マニュアル、再セットアップディスク※42		

■セレクションメニュー（以下の各項目から１つ選択することで、仕様が異なります）

フレーム型番		PC-GL26E692E PC-GL26E612E	PC-GL24E692E PC-GL24E612E	PC-GL16G692E PC-GL16G612E
ベースOS		Windows Vista® Business with Service Pack 1（SP1）正規版※1		
インストールOS		Windows® XP Professional Service Pack 3 正規版※1をインストール※2		
メインメモリ ※6※7※8	標準	いずれか選択可能 ・2GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 1GB×2、PC3-8500対応、デュアルチャネル対応)※10※11 ・4GB※9(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×2、PC3-8500対応、デュアルチャネル対応)		いずれか選択可能 ・2GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 1GB×2、PC3-8500対応※46、デュアルチャネル対応)※10※11 ・4GB※9(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×2、PC3-8500対応※46、デュアルチャネル対応)
	スロット数	2スロット[空き：0]		
	最大容量	4GB※9		
ドライブ	ハードディスクドライブ ※18(詳細は別表(p.126)をご覧ください)	いずれか選択可能 ・約250GB(Serial ATA、5400回転/分) ・約320GB(Serial ATA、5400回転/分) ・約320GB(Serial ATA、高速7200回転/分) ・約500GB(Serial ATA、5400回転/分)		
通信機能	ワイヤレスLAN	いずれか選択可能 ・無し ・高速Draft 11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵※20(IEEE802.11n Draft 2.0、IEEE802.11a/b/g準拠)		
入力装置	マウス	いずれか選択可能 ・無し ・USBレーザーミニマウス(横スクロール機能付き※22)(ホワイト) ・USBレーザーミニマウス(横スクロール機能付き※22)(ピンク) ・USBレーザーミニマウス(横スクロール機能付き※22)(ブラック) ・USBレーザーミニマウス(横スクロール機能付き※22)(レッド)		
バッテリ※33※34※36※43		・フレーム型番(PC-GL□□□□■□□)の■が9の場合 いずれか選択可能 ・ニッケル水素バッテリ(DC7.2V、Typ.4000mAh※39)[駆動時間：約1.1時間、充電時間(電源ON時／OFF時)：約3.3時間／約3.3時間] ・リチウムイオンバッテリ(DC11.1V、Typ.4000mAh※39)[駆動時間：約2.1時間、充電時間(電源ON時／OFF時)：約2.8時間／約2.8時間] ・フレーム型番(PC-GL□□□□■□□)の■が1の場合 いずれか選択可能 ・ニッケル水素バッテリ(DC7.2V、Typ.4000mAh※39)[駆動時間：約1.7時間、充電時間(電源ON時／OFF時)：約3.3時間／約3.3時間] ・リチウムイオンバッテリ(DC11.1V、Typ.4000mAh※39)[駆動時間：約2.7時間、充電時間(電源ON時／OFF時)：約2.8時間／約2.8時間]		PC-GL16G692Eの場合 いずれか選択可能 ・ニッケル水素バッテリ(DC7.2V、Typ.4000mAh※39)[駆動時間：約1.0時間、充電時間(電源ON時／OFF時)：約3.3時間／約3.3時間] ・リチウムイオンバッテリ(DC11.1V、Typ.4000mAh※39)[駆動時間：約1.7時間、充電時間(電源ON時／OFF時)：約2.8時間／約2.8時間] PC-GL16G612Eの場合 いずれか選択可能 ・ニッケル水素バッテリ(DC7.2V、Typ.4000mAh※39)[駆動時間：約1.3時間、充電時間(電源ON時／OFF時)：約3.3時間／約3.3時間] ・リチウムイオンバッテリ(DC11.1V、Typ.4000mAh※39)[駆動時間：約2.5時間、充電時間(電源ON時／OFF時)：約2.8時間／約2.8時間]
本体色		いずれか選択可能 ・スパークリングホワイト ・スパークリングピンク ・スパークリングブラック ・スパークリングレッド ・スパークリングブラウン		
主なソフトウェア		いずれか選択可能 ・無し ・Microsoft® Office Personal 2007※41 ・Microsoft® Office Personal 2007 with Microsoft® Office PowerPoint® 2007※41		

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※　1：32ビット版、日本語版です。添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用できます。別売のOSをインストールおよびご利用することはできません。

※　2：Windows Vista® Business with Service Pack 1（SP1）正規版プリインストールモデルに付帯するOSのダウングレード権を利用し、Windows® XP Professional Service Pack 3 正規版をインストールして出荷するサービスです。なお、インストールされるOS(インストールOS)はWindows® XP Professional SP3となりますが、お客様がライセンスを取得されるOS(ベースOS)はWindows Vista® Business with SP1となります。

※　3：別途ライセンスをご購入することなく、本体添付の「再セットアップディスク」を利用してWindows Vista® Business with SP1をご使用いただくことが可能です。
※　4：2つのOSを切り換えて使用することはできません。
※　5：電源の種類(AC電源、バッテリ)やシステム負荷に応じて動作性能を切り換える機能です。
※　6：増設メモリは、PC-AC-ME043C(2GB、PC3-8500)を推奨します。
※　7：他社製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
※　8：グラフィックスメモリは、メインメモリを使用します。
※　9：最大4GBのメモリを搭載可能ですが、PCIデバイスなどのメモリ領域を確保するために、すべての領域を使用することはできません。なお、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。
※ 10：最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ(2GB)を2枚実装する必要があります。
※ 11：2つのメモリスロットに異なる容量のメモリを搭載するメモリ構成はサポートしておりません。
※ 12：ISO13406-2の基準にしたがって、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。
※ 13：本体液晶ディスプレイの最大解像度より小さい解像度を選択した場合、拡大表示機能で画面全体に表示します。ただし、拡大表示によって文字や線などの太さが不均一になることがあります。Windows® XP Professional SP3の環境(出荷時状態)では、本体液晶ディスプレイより大きい解像度を選択した場合は、バーチャルスクリーン機能により実現します。本体添付の「再セットアップディスク」を利用しWindows Vista® Business with SP1をインストールしてご利用になる場合、液晶ディスプレイの最大解像度より大きい解像度を、液晶ディスプレイに表示することはできません。
※ 14：1677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現します。
※ 15：Windows® XP Professional SP3正規版の環境(出荷時状態)では、標準搭載しているDVD再生ソフトウェア「InterVideo® WinDVD® for NEC」が、CPRMに対応していませんので、ご注意ください。
本体添付の「再セットアップディスク」を利用しWindows Vista® Business with SP1 をインストールしてご利用になる場合は、標準搭載しているDVD再生ソフトウェア「InterVideo® WinDVD® for NEC」は、CPRM版にアップデートしてお使いいただくことができます。
※ 16：本機のもつ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同時表示可能です。ただし拡大表示機能を使用しない状態では、本体液晶ディスプレイ全体には表示されない場合があります。また解像度によっては、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。
※ 17：パソコンの動作状況により、使用可能なメモリ容量、グラフィックスメモリ容量が変化します。また本機のハードウェア構成、ソフトウェア構成、BIOSおよびディスプレイドライバの更新によりグラフィックスメモリの最大値が変わる場合があります。搭載するメインメモリの容量によって利用可能なグラフィックスメモリの最大値は異なります。利用可能なグラフィックスメモリの最大値とは、OS上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。
※ 18：1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。
※ 19：量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
※ 20：IEEE802.11n Draft 2.0およびIEEE802.11a/b/g準拠。ただし「IEEE802.11n Draft 2.0準拠」の表記は、他のIEEE802.11n Draft 2.0対応製品との接続性を保証するものではありません。IEEE802.11n Draft 2.0はWPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)対応、IEEE802.11a/b/gはWEP(64/128bit)、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES)対応。5GHz帯ワイヤレスLANは、IEEE802.11n Draft 2.0(W52/W53/W56)およびIEEE802.11a(W52/W53/W56)準拠です。理論上の最大通信速度は、送信が150Mbps、受信が300Mbpsですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。接続先の11nワイヤレスLAN機器の仕様により、接続時の速度が異なります。IEEE802.11n Draft 2.0(W52/W53)、およびIEEE802.11a(W52/W53)ワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。W52/W53/W56は社団法人 電子情報技術産業協会による表記です。詳細は http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/050516_5ghz/index.html をご覧ください。IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※ 21：キーボードのキーの横方向の間隔。キーの中心から隣のキーの中心までの長さ(一部キーピッチが短くなっている部分があります)。
※ 22：使用するソフトウェアによって動作が異なったり、使用できないことがあります。
※ 23：ACアダプタを接続している場合のみ使えます。動作確認済み機器に関しましては http://121ware.com/navigate/products/pc/connect/usb/list.html をご覧ください。
※ 24：本機には「パワーオフUSB充電の設定」はインストールしておりませんので、BIOSセットアップメニューから設定を実施してください。
※ 25：接続したeSATA対応機器から起動することはできません。接続したeSATA対応機器の転送速度は最大1.5Gbps(理論値)になります。
※ 26：パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。
※ 27：各々同時に使用することはできません。「マルチメディアカード(MMC)」はご利用できません。すべてのメモリーカード、メモリーカード対応機器との動作を保証するものではありません。
※ 28：「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」は、著作権保護機能(CPRM)に対応しています。
※ 29：「SDIOカード」には対応しておりません。「miniSDカード」、「microSDカード」をご使用の場合には、SDカード変換アダプタをご利用ください。microSDカード→miniSDカード変換アダプタ→SDカード変換アダプタの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「miniSDカード」、「microSDカード」の取扱説明書をご覧ください。
※ 30：「メモリースティック デュオ」をご使用の場合には、「メモリースティック デュオ」アダプターをご利用ください。「メモリースティック マイクロ」(M2)をご使用の場合には、「メモリースティック マイクロ」(M2)スタンダードサイズアダプターをご利用ください。「メモリースティック マイクロ」(M2)→「メモリースティック マイクロ」(M2)デュオサイズアダプター→「メモリースティック デュオ」アダプターの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「メモリースティック デュオ」、「メモリースティック マイクロ」(M2)の取扱説明書をご覧ください。本機は4ビットパラレルデータ転送に対応しております。ただし、お使いのメモリーカードによっては読出し／書込みにかかる時間は異なります。「メモリースティック PRO-HG デュオ」の8ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。著作権保護機能(マジックゲート)には対応しておりません。
※ 31：xD-ピクチャーカードの著作権保護機能には対応しておりません。
※ 32：電源コードの質量を除く。
※ 33：バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって記載時間と異なる場合があります。
※ 34：JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。詳しい測定条件は、インターネット(http://121ware.com/lavie/ → 各シリーズページ → 「仕様」)をご覧ください。
※ 35：リチウムイオンバッテリパック使用時。

※ 36： Windows Vista® Business with SP1インストール時は数値が異なります。
※ 37： パソコン本体のバッテリなど各種電池は消耗品です。
※ 38： 標準添付されている電源コードはAC100V用(日本仕様)です。
※ 39： 公称容量(実使用上でのバッテリパックの容量)を示します。
※ 40： エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。2007年度基準で表示しております。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
※ 41： Microsoft® Office 2007 Service Pack 2をインストール済み。本製品はマニュアルを添付しております。
※ 42： Windows Vista® Business with SP1環境を再セットアップします。
※ 43： Windows® XP Professional SP3 正規版、メモリ4GB(2GB×2)、DVDスーパーマルチドライブ、ハードディスク約320GB(高速7200回転/分)、高速Draft 11n対応ワイヤレスLANの構成にて測定。
※ 44： 手書きには個人差がありますので、本機能は完全な変換を保証するものではありません。
※ 45： バーチャルスクリーン機能により表示可能です。
※ 46： 本体に搭載しているメモリはPC3-8500ですが、本体のメモリバスの仕様上667MHzで動作します。

■DVD/CD ドライブ仕様一覧

ドライブ※1		DVDスーパーマルチドライブ (DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW) (バッファアンダーランエラー防止機能付き) [DVD-R/+R 2層書込み]
読出し	CD-ROM※2	最大24倍速
	CD-R	最大24倍速
	CD-RW	最大24倍速
	DVD-ROM	最大8倍速
	DVD-R	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速
	DVD-RW	最大8倍速
	DVD+RW	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速
	DVD-R (2層)※5	最大4倍速
	DVD+R (2層)	最大4倍速
書込み/書換え	CD-R	最大24倍速
	CD-RW※3	最大10倍速
	DVD-R※4	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速
	DVD-RW※7	最大6倍速
	DVD+RW	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速※9
	DVD-R (2層)※6	最大4倍速
	DVD+R (2層)	最大4倍速

※ 1： 使用するディスクによっては、一部の書込み／読出し速度に対応していない場合があります。
※ 2： Super Audio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読出し可能です。
※ 3： Ultra Speed CD-RWディスクはご使用になれません。
※ 4： DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。
※ 5： 追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読出しはサポートしておりません。
※ 6： DVD-R(2層)書込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したディスクの書込みに対応しています。ただし、追記は未対応です。
※ 7： DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書換えに対応しています。
※ 8： DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。また、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出してご利用ください。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の読出し/書換えはサポートしておりません。
※ 9： DVD-RAM12倍速ディスクの書込みはサポートしておりません。

■ハードディスクドライブ仕様一覧

<table>
<tr><td rowspan="3">ハード
ディスク
ドライブ</td><td colspan="3">ハードディスクドライブ：
セレクションメニュー※1</td><td>約500GB(Serial ATA、5400回転/分)</td><td>約320GB(Serial ATA、高速7200回転/分)</td><td>約320GB(Serial ATA、5400回転/分)</td><td>約250GB(Serial ATA、5400回転/分)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Windows®システムから認識される容量※2</td><td>Cドライブ／空き容量</td><td>ミニマムソフトウェアパックの場合※3</td><td colspan="4">約83GB／約69GB</td></tr>
<tr><td>Dドライブ／空き容量</td><td>ミニマムソフトウェアパックの場合※3</td><td>約376GB／約376GB</td><td colspan="2">約208GB／約208GB</td><td>約143GB／約143GB</td></tr>
</table>

※　1：1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。
※　2：右記以外の容量は再セットアップ用領域として占有されます。
※　3：Windows® XP Professional Service Pack 3 正規版、ミニマムソフトウェアパック、Microsoft® Office Personal 2007(SP2)及びMicrosoft® Office PowerPoint® 2007(SP2)の構成にて測定。

■ LAN 仕様一覧

項　目	規　格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時：1,000Mbps 100BASE-TX使用時：100Mbps 10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時：UTPカテゴリ5e以上 100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時 ：UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T：最大約200m/ステーション間 100BASE-TX：最大約200m/ステーション間 10BASE-T：最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

■ワイヤレス LAN 仕様一覧

本機能は Draft 11n 対応ワイヤレス LAN(abgn)モデル、および Draft 11n 対応ワイヤレス LAN(bgn)モデルのみの機能です。

Draft 11n 対応ワイヤレス LAN(abgn)モデル

● IEEE802.11a

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11a、ARIB STD-T71※4
通信モード	54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbpsモード)※1
変調方式	OFDM方式
無線チャンネル	36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64ch、100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch(パッシブスキャン)※5
周波数帯域	5GHz帯域　(5.15 ～ 5.35GHz、5.47～5.725GHz)※2
セキュリティ	WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES) WEP(鍵長64bit/128bit※3)

※　1：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※　2：36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64chを利用したワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
※　3：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。
※　4：ARIBについての表記の説明は「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)使用上の注意」をご覧ください。
※　5：パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

● IEEE802.11b/g

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b、ARIB STD-T66※3
通信モード	IEEE802.11gモード：54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbpsモード)※1 IEEE802.11bモード：11/5.5/2/1 (Mbpsモード)※1
変調方式	OFDM方式 (54/48/36/24/18/12/9/6Mbpsモード時) DS-SS方式 (11/5.5/2/1Mbpsモード時)
無線チャンネル	1〜11ch (アクティブスキャン) 12、13ch (パッシブスキャン)※4
周波数帯域	2.4GHz帯域　(2.4 〜 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES) WEP(鍵長64bit/128bit※2)

※　1：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※　2：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。

※　3：ARIBについての表記の説明は「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)使用上の注意」をご覧ください。

※　4：パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

● IEEE802.11n Draft 2.0

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11n Draft 2.0※1、ARIB STD-T66※3、ARIB STD-T71※3
通信モード (送信時)	20MHz時：65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 (Mbpsモード) 20MHz、Short GI有効時：72.22/65/57.78/43.33/28.89/21.67/14.44/7.22(Mbpsモード) 40MHz時：135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 (Mbpsモード) 40MHz、Short GI有効時：150/135/120/90/60/45/30/15 (Mbpsモード)※2
通信モード (受信時)	20MHz時：130/117/104/78/52/39/26/13 (Mbpsモード) 20MHz、Short GI有効時：144.44/130/115.56/86.67/57.78/43.33/28.89/14.44 (Mbpsモード) 40MHz時：270/243/216/162/108/81/54/27 (Mbpsモード) 40MHz、Short GI有効時：300/270/240/180/120/90/60/30 (Mbpsモード)※2
変調方式	OFDM方式、MIMO方式
無線チャンネル	1〜11ch (アクティブスキャン) 12、13ch (パッシブスキャン)※5 36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64ch、100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch(パッシブスキャン)※5
周波数帯域	2.4GHz帯域　(2.4 〜 2.4835GHz) 5GHz帯域　(5.15 〜 5.35GHz、5.47〜5.725GHz)※4
セキュリティ	WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)

※　1：「IEEE802.11n Draft 2.0準拠」の表記は、他のIEEE802.11n Draft対応製品との接続性を保証するものではありません。

※　2：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※　3：ARIBについての表記の説明は「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)使用上の注意」をご覧ください。

※　4：36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64chを利用したワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。

※　5：パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

修理チェックシート

A欄・故障診断用

修理依頼日　20　　年　　月　　日

ご住所	〒　　　ー		
フリガナ お名前 （貴社名）		電話番号	ご自宅（　　　）　　ー FAX（　　　）　　ー
部署名/ご担当者名 （法人の場合）		日中の連絡先 （お勤め先・携帯電話等）	

（本体） 製品型番/型名	PC-	製造番号	
（ディスプレイ） 製品型番/型名		製造番号	

症状について

1 どのような症状ですか？（できるだけ詳しくご記入ください）

① 電源は入りますか？	□ はい	□ いいえ	□ 時々
② 本体ランプは点灯しますか？	□ はい（　　　　色）		□ いいえ
③ モニタランプは点灯しますか？	□ いいえ	□ グリーン色	□ オレンジ色
④ ファン（通風）は回転しますか？	□ はい	□ いいえ	□ 時々
⑤ 「NEC」ロゴは表示されますか？	□ はい	□ いいえ	□ 時々
⑥ Windowsは立ち上がりますか？	□ はい	□ いいえ	□ 時々

2 その症状はいつから発生していますか？　20　　年　　月　　日頃から

3 その症状はどんな操作をしたときに起こりますか？

4 症状の発生頻度を教えてください　□ 常時　□ 一日に数回　□ 週に数回　□ 月に数回　□ 年に数回　□ 不定期的に　□ 過去に発生した

5 お客様が追加してインストールされたソフトウェアがあれば、メーカー名、製品名をご記入ください

6 お客様が増設した周辺機器があれば、製品名をご記入ください
（対象：メモリ・ハードディスク・プリンタ・モデム等）

7 インターネットまたは電子メールに関する故障の場合は使用回線を教えてください
□ アナログ電話回線　□ ISDN　□ ADSL　□ 光回線　□ CATV　□ 社内LAN
□ その他〔　　　　〕

8 テレビに関する故障の場合はテレビ電波の種類を教えてください
□ 地上波アナログ　□ 地上波デジタル　□ BS　□ CS　□ CATV〔会社名：　　　〕

B欄・修理申込用

項目	記入欄
1 お買い上げ日	20　　年　　月　　日
2 保証書の添付について	□ 無 □ 有〔保証書には販売店印または販売店の発行する領収書（購入日がわかるもの）が必要です〕
3 修理料金見積りについて	□ 見積不要(修理連絡なしに修理してもよい) □ 見積連絡不要　※見積連絡の必要がないので早く修理品を返却できます。 〔　　万　　千円以下(税込)であれば連絡なしに修理してもよい〕 □ 見積連絡必要
4 お預りする添付品について	□ 無 □ 有（□ ACアダプター　□ メモリ　□ 電源コード　□ キーボード　□ マウス　□ フロッピー媒体　□ CD媒体　□ 保証書　□ その他（　　　　））
5 [重要] ハードディスクの初期化について ※1	□ 同意する □ 同意しない（故障原因がハードディスクまたはソフト障害の場合、ご同意いただけないと修理を行うことができません。そのままお返しすることをご了承ください。ハードディスク故障またはソフト障害のみ初期化。他の部品故障はハードディスクの初期化は行いません。）
6 ハードディスク内のデータのバックアップについて ※1	□ バックアップした □ バックアップしない
7 セットアップメニュー(BIOSメニュー)のスーパバイザパスワードの設定について ※2	□ 設定していない □ 設定しているが修理を出す前に解除した □ 設定しているが「12345」(半角)に変更した □ パスワードを教える。〔スーパバイザパスワード　　　　〕
8 ログインする際のユーザー名でAdministrator（コンピュータの管理者）権限を持つユーザー名について（セットアップ時の登録ユーザー名） ※2	ユーザー名〔　　　　　　〕 パスワードの設定 （□ 設定していない(修理を出す前に解除した) □ 設定しているが「12345」(半角)に変更した □ パスワードを教える。〔パスワード　　　　〕）

注意事項

※1　修理のためにハードディスクの初期化が必要となる場合があります。初期化によりハードディスク内に記録されているお客様すべてのデータおよびソフトウェアが消去されます。
（パソコン内に登録されたソフトウェアや作成されたデータ、インターネット接続情報、メールアドレスやメール内容、お客様が取り込んだ写真、ホームページお気に入り情報、その他お客様が登録された固有の設定情報など、ハードディスク内の「すべてのドライブ」の「すべてのデータ」が消去されます。）
従いまして、常日頃からこまめにバックアップ(複製)するとともに、修理に出される前には必ずバックアップをお取りいただくようお願いいたします。
また、初期化にご同意いただけない場合、修理をすることができず診断料を請求しそのままお返しすることがあります。

※2　修理に出される前に、必ずパスワードを解除するか「12345」（半角）に変更していただくようお願いいたします。指紋認証システムをご利用のお客様は、あらかじめ認証機能を解除してください。
ご希望により当社でパスワードを解除(有料）する場合は、121コンタクトセンター（フリーコール　0120-977-121）〈修理受付〉までお問い合わせください。認証解除等においては再セットアップが必要になる場合があります。

索引

異常や故障の場合には

万一、本機に異常や故障が生じた場合には、次のように対処してください。

・本機から煙が出たり、異臭がしたりする
・本機が、手で触れないほど熱い
・本機から異常な音がする
・本機や接続されたケーブル類が破損した

↓

すぐに電源を切って電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
※電源が切れないときには、そのまま電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
バッテリパックを取り付けている場合は取り外してください。

↓

NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

初版 2009年7月
NEC
853-810601-836-A
Printed in Japan

LaVie
VALUESTAR
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。